取扱説明書

CDA-9939J
FM/AM CD Player

CDA-9835J
CDヘッドユニット

Plays Windows Media™

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT

お問い合わせはインフォメーションセンターへ
●インフォメーションセンター　TEL：048-662-6636
●インフォメーションセンター
西日本分室　TEL：06-6386-2236
●電話受付時間　土日祝日、弊社休業日を除く9：30〜17：30
●電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX：048-662-6676
●アルパイン ホームページ　http://www.alpine.co.jp

アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in China (Y-497)
68P04190K14-A

⚠安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
  内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。 禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。 禁止 強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。 強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。 禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。 禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。 禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。 禁止 強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。 禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。 禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。 禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。 禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。 禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。

車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。

車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。

禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。

禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない
雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。
また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない
製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う
本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う
お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない
車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意
寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて
路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。
車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

可動部分の動作中は操作をしない
ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について
可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる
可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

取り扱い上のご注意（CD）

本機で使用できるディスクについて
ディスクレーベル面に「CDロゴ」下記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

TEXT

CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。
また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R（CD-Recordable）／CD-RW（CD-ReWritable)、MP3/WMAファイル形式のCD-R／CD-RWの再生が可能です。

- 次のようなディスクは、再生できないことがあります。
  指紋やキズが付いている／車内や製品内に長時間放置した／データ書き込み状態が不安定／データ書き込みに失敗し再録音した場合など
- MP3/WMAファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは50ページを参照してください。

コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い
故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼らない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリーを使わない。
特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

特殊な形状のディスクは使わない
必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

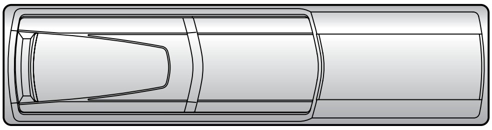
コンパクトディスクのお手入れ
柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意
ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

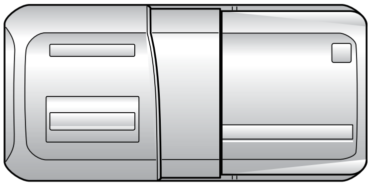
CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- 行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、お試しください。

CDも、MDも、お気に入りのアルバムは、アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



CD CHANGER ***CHA-S634***



MD CHANGER ***MHA-S670***

車室内にもセットできる超小型サイズのCD6枚チェンジャーが、
CD-R/CD-RWの再生、さらにMP3再生にも対応して新登場。
人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。
車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。
そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて
高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる
快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、
あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

別売のKCA-410C（Versatile Link Terminal）と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど（外部入力）2台、計4台の製品を接続することができます。



目次

安全にお使いいただくために

基本操作

CD

MP3/WMA

チェンジャー

ラジオ

タイトル／テキスト

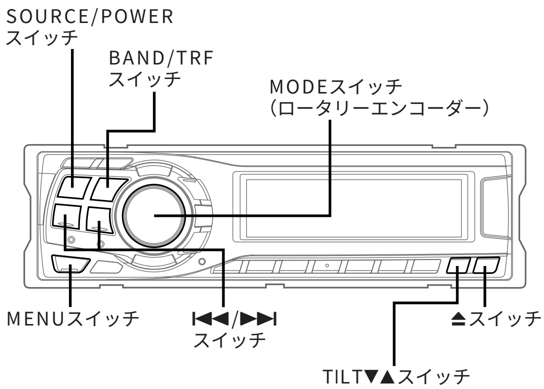
サウンド

便利な機能

リモコン

取り付けと接続

その他



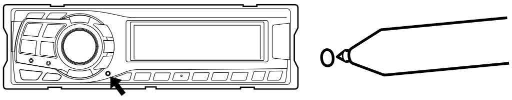
基本操作

リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

1 **電源が切れているか確認する。入っている場合には、「SOURCE/POWER」を2秒以上押して、電源を切る。**

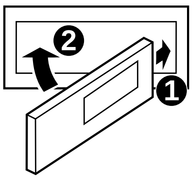
2 **リセットスイッチをペン先などで押す。**



Memo
● リセットすると、時刻など記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。セットアップ（SETUP）での設定（時刻／カレンダーの設定を除く）や、サウンド調整でのプリセット（Preset）メモリーはリセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

● **フロントパネルを取り外してしまったら、次の方法でもとに戻してください。**
❶ 右端の角へパネルを斜めに合わせる。
❷ 右側を押さえながら、左端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込む。





Memo
● 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっていても故障ではありません。
● **取り外したパネルを取り付ける前に**
コネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。

電源のON/OFF

1 **イグニッションキー（エンジンキー）をACCまたはONにする。**

2 **「SOURCE/POWER」を押す。**
電源が入る。

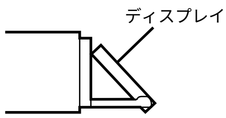
3 **電源を切るときは、「SOURCE/POWER」を2秒以上押す。**

Memo
● 電源は「⏏」、「⏏」、「TITLE ◷」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、CDを挿入すれば電源が入ります。

ディスプレイの角度調整

ディスプレイを見やすい角度（3段階）に調整することができます。

1 **「TILT▲▼」を押して希望の角度に調整する。**
調整したディスプレイの角度はそのまま記憶される。

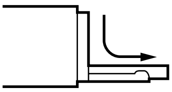


Memo
● ディスプレイは、イグニッションキーをOFFにしてしばらくすると全閉します。次に本機の電源をONにすると、調整した角度となります。

ディスプレイの開閉

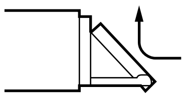
イグニッションキーをONにするだけで、操作することができます。

1 **「⏏」を押す。**
ディスプレイが開く。



（ディスプレイが開ききった状態）

2 **開いたディスプレイを戻すには、「⏏」を押す。**
- **角度調整あり**
  ディスプレイは記憶された角度になる。
- **角度調整なし**
  ディスプレイは全閉する。



Memo
- ディスプレイが開ききった状態では、「⏏」以外、操作できません。
- 本機の電源がONのとき、開ききった状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
- イグニッションキーをOFFにしてからしばらくすると、ディスプレイは全閉します。

音量/バランス/フェダー/ディフィートの調整

1 「MODE」（ロータリーエンコーダー）を押して調整したいモードを選ぶ。

SUBWOOFER ― **サブウーハー出力レベル調整／位相切りかえモード**
サブウーハー出力の調整を行います。(0〜+15)
サブウーハー出力の位相を切りかえます。(NORMAL/REVERS)

↓

BALANCE ― **バランス調整モード**
左右のスピーカー音量を調整します。(L15〜R15)

↓

FADER ― **フェダー調整モード**
前後のスピーカー音量を調整します。(F15〜R15)

↓

DEFEAT ― **ディフィート設定モード**
ONに設定するとMXをOFF、EQを初期値に戻します。(ON/OFF)

↓

VOLUME ― **音量調整モード**
音を大きくしたり小さくしたりします。(0〜35)

2 5秒以内に「MODE」（ロータリーエンコーダー）を回転させて、好みのレベルに調整または設定する。

Memo
- ※ 3WAY/2WAY切りかえスイッチ（40ページ参照）を「3WAY」に設定している場合、フェダー調整はできません。
- SUBWOOFER（サブウーハー）が「OFF」に設定されている場合は、SUBWOOFERの調整は行えません。（31ページ参照）
- サブウーハーの位相切りかえは、SUBWOOFERを選んだ後、「⏮」または「⏭」を押して切りかえます。お好みの音が得られる方を選んでください。
- モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

セットアップ（SETUP）について

本機には、さまざまなセットアップ（SETUP）機能が用意されています。例えば、ディスクテキストなどのスクロール表示を設定する「スクロール設定」など、自分好みの設定に変更することができます。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

→ Multicolor Illumination モード → Factory's EQ モード → Amplifier LINK モード ※ → i-Personalize モード ※※ → SETUP モード → 通常モード (RETURN) ─┘

※ Amplifier LINK対応アンプ（MRD-M501／MRD-M301)接続時のみ
※※ CDモードやMMDRIVERモード（HDA-5460MS／MDA-5060MS接続時のHDDまたはMGMSモード）のみ

2 「⏮」または「⏭」を押して、各設定モードを選ぶ。

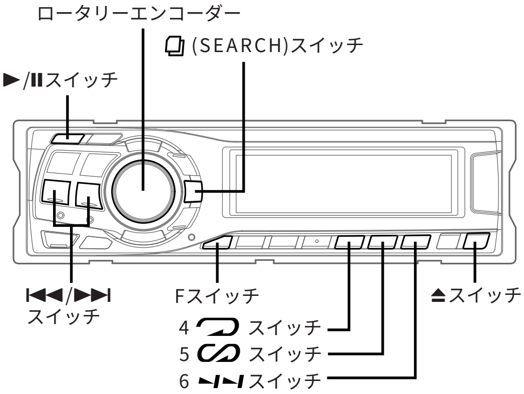
3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、設定を行う。

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

設定項目	参照ページ	切りかえ内容
時刻／カレンダーの設定	30	**CLOCK 年/月/日/時/分**
TUNER(FM)音質の設定	26	FM TUNER SET STABLE/**NORMAL**/HI-FI
ディスプレイの明るさ調整	28	DIMMER **AUTO**/MANUAL
サブウーハーON/OFF	31	SUBWOOFER **ON**/OFF
サブウーハー出力設定	31	SUBWOOFER **STEREO**/MONO
MP3/WMA再生データの設定	11	PLAY MODE **CD-DA**／CD-DA/MP3
操作音設定	26	BEEP **ON**/OFF
スクロール設定	18	SCROLL **MANUAL**/AUTO
外部割り込みの設定	35	INT MUTE **ON**/OFF
外部割り込み時のディフィート設定	34	INT AUDIO ON/**OFF**
外部入力の設定	34	AUX IN ON/**OFF**
AUX表示切りかえ ※1	34	AUX NAME **AUX**/TV/VTR/GAME
外部アンプ接続時の設定 ※2	32	POWER IC **ON**/OFF
ツィーター設定	31	TW SETUP **MAKER'S**/USER'S
アンプの温度表示切りかえ	33	A-LINK TEMP °**C**/°F
動画表示の設定	27	ANIMATION **1**/2/3/4/5
オープニングメッセージのON/OFF	28	OPENING MESSAGE ON/**OFF**
カレンダー表示パターン切りかえ	28	CALENDAR **mm/dd/yyyy** /dd/mm/yyyy /yyyy/mm/dd
デモのON/OFF	30	DEMO ON/**OFF**

太字部分が工場出荷時の設定ポジションです。
※1 AUX IN ONのとき表示される。
※2 CDA-9835Jのみ

Memo
- セットアップ（SETUP）での設定（時刻／カレンダーの設定を除く）は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。



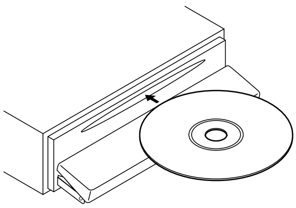
CD操作

CD（ディスク）を聴く

1 「 ⏏ 」を押して、ディスプレイを開く。

2 ディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり、演奏が始まる。

＜挿入時の注意＞
●ラベル面を上にする。



Memo
● すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、CDモードにすると演奏が始まります。

→ TUNER → CD → CHANGER ※
（※チェンジャー接続時のみ）

● CDテキストが入ったディスクなど、ディスクによっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。
● シングルCD（8cm CD）はそのまま使用できますので、アダプターは使用しないでください。故障の原因となる場合があります。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量（0～35）を調整する。

4 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

● 演奏中の曲の頭出し …「|◀◀」を押す。
● 早戻し ………………「|◀◀」を押し続ける。

● 次の曲の頭出し ………「▶▶|」を押す。
● 早送り ………………「▶▶|」を押し続ける。

5 演奏を一時停止するときは、「▶/II」を押す。
再度「▶/II」を押すと、演奏が再開する。

6 ディスクを取り出すときは、「 ⏏ 」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

7 開いたディスプレイを戻すには「 ⏏ 」を押す。

Memo
● ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
● 音楽ファイルの他にROMデータが混在するディスクを再生する場合、データ領域は無音状態になります。

曲のイントロだけを聴く SCAN（スキャン）

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

1 「6 」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

2 聴きたい曲が見つかったら再度「6 」を押す。
その曲の演奏を続ける。

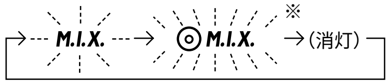
● **チェンジャーモードのとき、**
曲のイントロだけを聴く／繰り返し聴く／
曲順を変えて聴く
上記機能をお使いの場合は、「F」を押して操作アシスト画面を表示させ、M.I.X./REPEAT/SCAN操作モードにしてから、各操作手順で行ってください。操作アシスト画面は10秒後に表示OFFになりますが、選んだ操作モードは保持されます。



曲順を変えて聴く　M.I.X.（ミックス）

曲を順不同に演奏させることができます。

1 **「5 」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。**
順不同に曲を演奏する。



※ M.I.X. ALL 対応チェンジャーモード時
（MP3対応チェンジャーはM.I.X. ALLに対応していません）

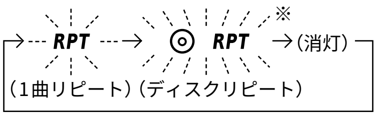
2 **解除するには、再度「5 」を押す。**

Memo
● **チェンジャーモード時**
- 「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
- 「 M.I.X.」（M.I.X. ALL）を指定すれば、1曲ずつディスクを変えながら演奏します。（M.I.X. ALL 対応チェンジャーのみ）
- 「 RPT」（REPEAT ALL）演奏中に「M.I.X.」を指定すれば、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。
- M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

繰り返し聴く　REPEAT（リピート）

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

1 **演奏中に「4 」を押して、<RPTインジケーター>を点灯させる。**
選んだ曲を繰り返し演奏する。



（※チェンジャーモード時）

2 **解除するには、再度「4 」を押す。**

Memo
● **チェンジャーモード時**
- 「 RPT」（REPEAT ALL）を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
- M.I.X.演奏中にREPEATモードをONにすると、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。
- M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

CDテキストから探す

CDテキストから曲（トラック）を検索し演奏させることができます。テキスト未対応のディスク／チェンジャーの場合は、トラックNo.から検索できます。

1 **演奏中に「」（SEARCH）を押す。**
「」が点滅してサーチモードになる。

2 **「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の曲を選ぶ。**

3 **「ロータリーエンコーダー」を押す。**
選んだ曲を演奏する。

Memo
● サーチモード中に「」（SEARCH）を2秒以上押す、または10秒間操作を行わないと、サーチモードは解除されます。

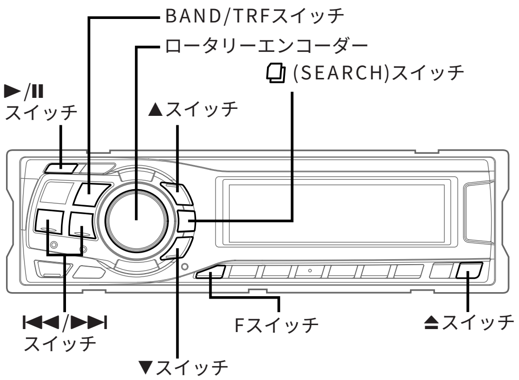
クイックサーチ

素早く簡単に曲（トラック）を選択することができます。

1 **「」（SEARCH）を2秒以上押す。**
「」が点滅してクイックサーチモードになる。

2 **「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の曲（トラックNo.）を選ぶ。**
選んだ曲が演奏される。

Memo
● サーチモード中に「」（SEARCH）を2秒以上押す、または10秒間操作を行なわないと、サーチモードは解除されます。



MP3/WMA操作

本機内蔵のプレーヤーでMP3/WMA再生が行えます。

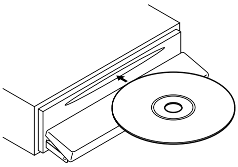
MP3/WMAを聴く

本機で再生できるMP3/WMAは、本機対応のフォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは「MP3/WMAについて」（50ページ）を参照してください。尚、DRM（著作権管理 Digital Rights Management）システムのWMAファイルは再生できません。

1 「⏏」を押して、ディスプレイを開く。

2 MP3/WMAファイルが収録されたディスクを挿入する。
MP3/WMAファイルを検索し、演奏が始まる。
- MP3/WMAのディスクは、記録の状態によっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

<挿入時の注意>
●ラベル面を上にする。



Memo
● すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、CDモードにすると演奏が始まります。

→ TUNER → CD → CHANGER ※

（※チェンジャー接続時のみ）

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量（0〜35）を調整する。

4 「I◄◄」または「►►I」を押して、聴きたい曲（ファイル）を選ぶ。

● 演奏中の曲の頭出し …「I◄◄」を押す。
● 早戻し ………………「I◄◄」を押し続ける。

● 次の曲の頭出し ………「►►I」を押す。
● 早送り ………………「►►I」を押し続ける。

5 演奏を一時停止するときは、「►/II」を押す。
再度「►/II」を押すと、演奏が再開する。

6 ディスクを取り出すときは、「⏏」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

7 開いたディスプレイを戻すには「⏏」を押す。

Memo
● ディスプレイが開いた状態で30秒たつと、警告ブザーが鳴ります。
● MP3/WMAの演奏時に「TITLE ◷」を押すと、ファイル名、フォルダ名、タグ情報などを表示させることができます。
詳しくは、「タイトル／テキストを表示する」（16ページ）を参照してください。
● 本機はオーディオデータとMP3/WMAデータが混在するディスクでも再生が可能です。
● CDオーディオデータ再生時のトラック表示はディスクに記憶されているトラック番号になります。
● 作成したライティングソフト・MP3変換ソフトによっては再生できない場合があります。その際は他のソフトでお試しください。
● 本機とHDA-5460MS、またはMDA-5060MSを接続した場合、本機から一部の操作（ソース切りかえ、ファイルのアップダウン等）が可能です。
● 音楽ファイルの他にROMデータが混在するディスクを再生する場合、データ領域は無音状態になります。

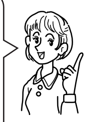
プレイリストを再生する

本機では、パソコン上であらかじめ作成したプレイリストをもとに5個のプレイリストまで再生することができます。

1 「▲」または「▼」を押して、プレイリストを選びます。
押し続けると、連続して変化します。

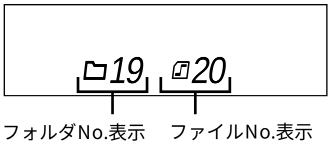
Memo
● MP3/WMAの両方に対応しています。
● プレイリストの拡張子は、「m3u」と「asx」の両方に対応しています。
● ディスクにプレイリストとフォルダがある場合は、プレイリストを優先して再生します。
● プレイリストとして認識されるのは5個のプレイリストまでです。6個目以上は認識されません。
● プレイリスト再生は、そのプレイリスト内の曲のみの再生となります。次のプレイリストまたはフォルダへ移行させるには、「▲」または「▼」を押して、フォルダの選択を行ってください。

●プレイリストの表示について
プレイリストの再生中は、プレイリスト内のフォルダとファイルを表示します。

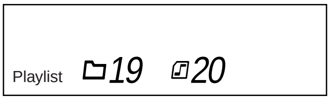


● フォルダNo.、ファイルNo.表示について
フォルダNo.、ファイルNo.は次のように表示されます。

MP3/WMA



プレイリスト



フォルダを選択する

1 「▲」または「▼」を押して、前後のフォルダを選ぶ。
「▲」または「▼」を押し続けると、フォルダを連続でかえることができます。

フォルダ／ファイルサーチ

ディスク内のフォルダ、またはプレイリストやファイルを検索し演奏させることができます。

1 MP3/WMA演奏中に「□」（SEARCH）を押してサーチモードを選ぶ。
「□」が点滅してサーチモードになる。
ファイルサーチモード⟷フォルダサーチモード

ファイルサーチモード：
演奏中のフォルダまたはフォルダサーチで選んだフォルダからファイルを検索します。
フォルダサーチモード：
ディスク内の全てのフォルダまたはプレイリストから希望のフォルダまたはプレイリストを検索します。

2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、演奏させたいフォルダ、プレイリストまたはファイルを選ぶ。
サーチモードを切りかえるには、「□」（SEARCH）を押す。

3 「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだフォルダまたはプレイリストの1曲目または選んだファイルが演奏される。

> *Memo*
> - サーチモード中に「□」（SEARCH）を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
> - ファイルサーチモード中に「▲」または「▼」を押すと、前後のフォルダを選ぶことができます。
> - M.I.X.演奏中にフォルダ／ファイルサーチはできません。
> - フォルダサーチモードで選んだフォルダ、またはプレイリストにファイルがない場合は「NO FILE」と2秒間表示します。
> - ルートフォルダは「0（ゼロ）」と表示されます。

クイックサーチ

素早く簡単に曲（ファイル）を選択することができます。

1 「□」（SEARCH）を2秒以上押す。
「□」が点滅してクイックサーチモードになる。

2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の曲を選ぶ。
選んだ曲が演奏される。

> *Memo*
> - サーチモード中に「□」（SEARCH）を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。

MP3/WMA再生データの設定

オーディオデータ（CD-DA）のみを再生するか、オーディオデータとMP3/WMAの両方とも再生するか（CD-DA/MP3)を設定することができます。
(オーディオデータとMP3/WMAデータ混在ディスク使用時)

この設定は、ディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。
(MP3チェンジャーの場合、ディスクチェンジを行ってください)

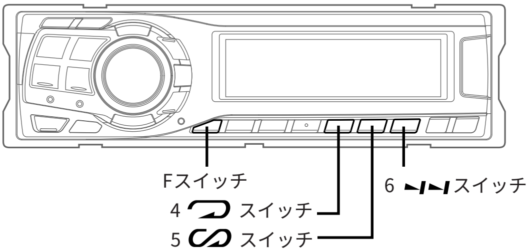
1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「I◀◀」または「▶▶I」を押して、PLAY MODEを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、DISC選曲範囲を設定する。

CD-DA ⟷ CD-DA/MP3
（工場出荷時の設定）

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



曲のイントロだけを聴く　SCAN（スキャン）

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

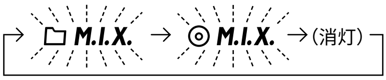
1 **「6」を押す。**
曲が約10秒間ずつ演奏される。

2 **聴きたい曲が見つかったら再度「6」を押す。**
その曲の演奏を続ける。

曲順を変えて聴く　M.I.X.（ミックス）

曲を順不同に演奏させることができます。

1 **「5」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。**
順不同に曲を演奏する。



📁 **M.I.X.：** フォルダ内のみを対象に順不同に演奏する。

◎ **M.I.X.：** ディスク内の曲を順不同に演奏する。チェンジャーモード時はディスク内の曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していく。

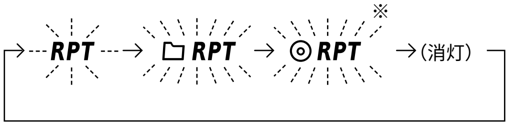
2 **解除するには、再度「5」を押す。**

Memo
- プレイリスト再生時は、M.I.X.演奏はできません。
- ◎ M.I.X.（M.I.X. DISC）再生中にフォルダUP／DOWNを行うと、M.I.X.動作は解除されます。
- **チェンジャーモード時**
  - M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

繰り返し聴く　REPEAT（リピート）

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

1 **演奏中に「4」を押して、<RPTインジケーター>を点灯させる。**
選んだ曲を繰り返し演奏する。



（※チェンジャーモード時）

RPT： 1曲のみを繰り返し演奏する。
📁 **RPT：** フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏する。
◎ **RPT：** そのディスクを繰り返し演奏する。

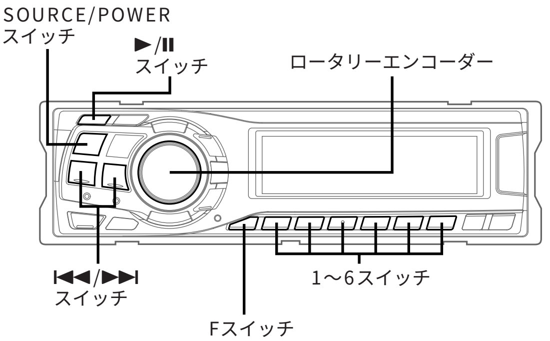
2 **解除するには、再度「4」を押す。**

Memo
- **チェンジャーモード時**
  - M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

- **チェンジャーモードのとき、曲のイントロだけを聴く／繰り返し聴く／曲順を変えて聴く**

上記機能をお使いの場合は、「F」を押して操作アシスト画面を表示させ、M.I.X./REPEAT/SCAN操作モードにしてから、各操作手順で行ってください。操作アシスト画面は10秒後に表示OFFになりますが、選んだ操作モードは保持されます。



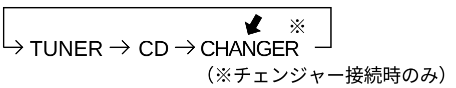


チェンジャー操作

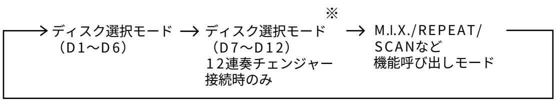
（チェンジャーを接続すると、本機から操作できます。）

チェンジャーでMD/CDを聴く

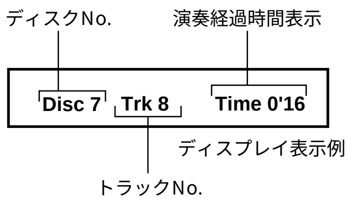
1 **「SOURCE/POWER」を押して、CHANGERモードにする。**



2 **「F」を押して、ディスク選択モードを選ぶ。**



※ 12連奏チェンジャー（CHA-1214/CHA-1204)は現在発売されていません。



3 **ディスクNo.を選ぶときは「1」～「6」のいずれかを押す。**

ディスク選択モード（D1～D6）：
「1」～「6」はディスクNo.1～6に相当する。
ディスク選択モード(D7～D12)：
「1」～「6」はディスクNo.7～12に相当する。

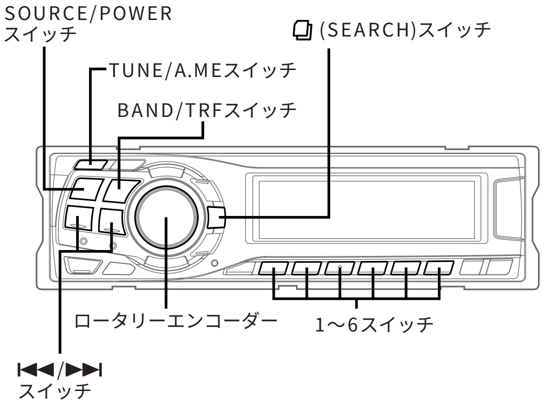
4 **「I◀◀」または「▶▶I」を押して、聴きたい曲を選ぶ。**

5 **「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量（0～35）を調整する。**

6 **演奏を一時停止するときは、「▶/II」を押す。**
再度「▶/II」を押すと、演奏が再開する。

Memo

- 曲の早送り／早戻しをするには、「▶▶I」または「I◀◀」を押し続けます。
- MP3対応チェンジャーを接続した場合、内蔵MP3と同様に操作することができます。
- チェンジャーモードのとき、「曲のイントロだけを聴く／曲順を変えて聴く／繰り返し聴くなど」については、CD操作（8～9ページ）、MP3/WMA操作（10～12ページ）を参照してください。
- CD/チェンジャーモード時に「BAND/TRF」を押すと、ディスクモードが切りかわります。
- **Versatile Link Terminal（KCA-410C）を使用し、チェンジャーを2台接続している場合は、「BAND/TRF」を押して内蔵CD／CHANGER-1／CHANGER-2を切りかえます。**



ラジオ操作

ラジオを聴く

1 「SOURCE/POWER」を押して、TUNERモードにする。
TUNERモードにするとアンテナが伸びる。（パワーアンテナ装着車のみ）

→ TUNER → CD → CHANGER※ →
（※チェンジャー接続時のみ）

2 「BAND/TRF」を押して、バンドを選ぶ。

→FM1→FM2→AM→

3 「TUNE/A.ME」を押して、チューニングモードを選ぶ。

→ DX（ディスタンスモード）→ LOCAL（ローカルモード）→ MANUAL（マニュアルモード）→

Memo
● 初期設定はディスタンスモードに設定されています。
・ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。（自動選局）
・ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。（自動選局）
・マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。（手動選局）

4 「⏮」または「⏭」を押して、聴きたい放送局（周波数）を探す。
押し続けると連続で周波数が切りかわる。

5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量（0～35）を調整する。

放送局を記憶する

1 「ラジオを聴く」を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。

2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。
押されたNo.に、放送局が記憶される。

Memo
● 放送局は18局まで記憶できます。
FM1…6局、FM2…6局、AM…6局
● すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動的に放送局を記憶する

1 「BAND/TRF」を押して受信したいバンドを表示させる。

→FM1→FM2→AM→

2 「TUNE/A.ME」を2秒以上押す。
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。

Memo
● 放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

記憶した放送局を受信する

1 「BAND/TRF」を押してバンドを選ぶ。

→FM1→FM2→AM

2 「1」～「6」のうち1つを押す。
選択した放送局が受信される。

FM 1	Pre 3	88.1MHz

プリセットNo.表示
（「1」～「6」に記憶されている放送局を受信しているときに表示されます。）

ディスプレイに<STインジケーター>が点灯しているときは、FMステレオ放送が受信されています。
（AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。）



道路交通情報を受信する TRF（トラフィックインフォメーション）

1 「BAND/TRF」を2秒以上押す。
TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信する。

2 「I◀◀」または「▶▶I」を押して、1620kHz/1629kHzを切りかえる。

3 解除するには、再度「BAND/TRF」を2秒以上押す。

Memo
- CD、チェンジャー、ラジオのいずれを聴いていても、交通情報を受信できます。

放送局タイトルから探す

ラジオ放送局にタイトルがついているときは、タイトルから放送局を検索することができます。タイトル入力については、「タイトルをつける」（17ページ）を参照してください。

1 「□」（SEARCH)を押す。
「□」が点滅してサーチモードになる。

2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望のタイトルを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだタイトルの放送局が受信される。

Memo
- サーチモード中に「□」（SEARCH）を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- タイトルサーチは、ラジオバンドに関係なくサーチします。タイトル入力順に表示されます。
- 放送局に1つもタイトルが入っていないときは「NO TITLE」と2秒間表示します。

放送局（周波数）から探す

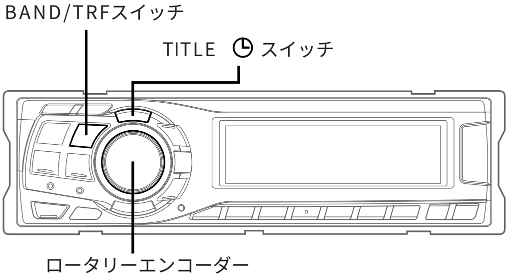
放送局（周波数）から検索することができます。

1 「□」（SEARCH)を2秒以上押す。
「□」が点滅してクイックサーチモードになる。

2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の放送局（周波数）を選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだ放送局が受信される。

Memo
- サーチモード中に「□」（SEARCH）を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。



タイトル／テキスト操作

タイトル／テキスト／スクロールとは

この説明書で使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

●タイトルとは

文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。（MP3/WMAディスクのタイトル入力/表示は行えません。）

●テキストとは

あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

●タイトル／テキスト入力表示一覧

	オーディオデータ		MP3/WMA		ラジオ	
	入力	表示	入力	表示	入力	表示
タイトル	○※1	○※1	×	×	○	○
テキスト	×	○※2	×	○※3 ※4	×	×
対応文字	英数、記号、カタカナ、ひらがな、漢字					

※1　チェンジャー内のディスクでは「ひらがな」「漢字」に対応していません。
※2　チェンジャー内のディスク（MP3対応チェンジャーを除く）では、「ひらがな」「漢字」に対応していません。
※3　WMAのタグ情報は「全角文字」に対応していません。
※4　ファイル名／フォルダ名は、ライティングソフトによっては「全角文字」が表示できない場合があります。

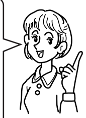
・MP3/WMAディスクの場合は、フォルダ名／ファイル名／タグ情報の表示ができます。
・タイトルは16文字まで入力できます。
・チェンジャー内のディスクタイトルは8文字まで入力できます。

●スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「マニュアルモード」とスクロールを繰り返す「オートモード」を搭載しています。CDテキストとフォルダ名、ファイル名、タグ表示のみスクロール表示します。

●「MANU（マニュアル）モード」のとき、再スクロールを行うには（CD／CDチェンジャーモードのとき）

1　CDテキストまたは、フォルダ名、ファイル名、タグ表示のとき、「TITLE ◷」を2秒以上押す。

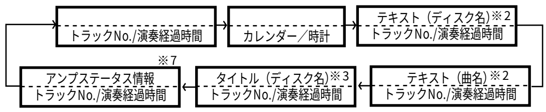


タイトル／テキストを表示する

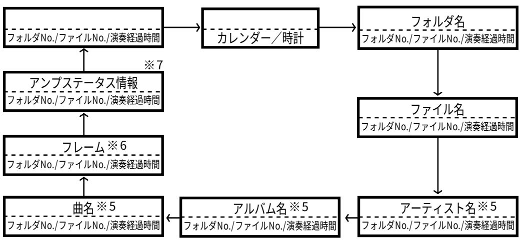
「ラジオ放送局」や「CD」に本機からタイトルを入力していれば、タイトルを表示させることができます。また、CDテキスト対応の音楽CDの演奏中に、ディスク名／トラック名などを表示させることもできます。
MP3/WMAファイルを演奏中は、フォルダ名、ファイル名、タグ情報の表示が可能です。

1　「TITLE ◷」を押す。

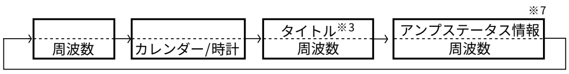
（CDモード表示例）※1



（MP3/WMAモード表示例）※1、※4



（ラジオモード表示例）※1



※1　記載表示例は、通常画面モードの表示例です。ディスプレイ表示パターンによってかわります。「グラフィックスクリーンを切りかえる」（27ページ)参照。

※2　CDテキストは半角64文字まで表示可能。
CDテキスト対応チェンジャーの場合は半角64文字まで表示可能。
CDテキストが入っていない場合は NO TEXT と表示される。

※3　タイトルが入っていない場合は NO TITLE と表示される。タイトル入力／消去が可能。

※4　ルートフォルダのフォルダNo.は「0（ゼロ）」と表示される。

※5　MP3/WMA ファイルにタグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示される（半角30 文字（WMA は半角15 文字）まで）。その他の情報や表示可能な文字数を超えた情報は表示されない。
タグ情報がない場合は NO DATA と表示される。

※6　MP3/WMA ファイル作成時のサンプリングレートとビットレートを表示する。ただし、WMAのVBR（可変ビットレート）ファイルは、平均ビットレート表示になります。

※7　別売のAmplifier LINK対応アンプ接続時のみ表示可能。

Memo
- CDチェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT対応のCDチェンジャーのみです。
- 「タグ」「サンプリングレート」「ビットレート」「ルートフォルダ」については50ページの用語説明を参照してください。
- 表示可能な文字数を超えた情報は表示されません。
- テレビなどの外部音声を割り込ませている時（INTERRUPT表示中）は、「TITLE ◷」を押して時刻を表示させることができます。
- **漢字／ひらがななど本機で表示できない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。**

タイトルをつける

お好みの「ラジオ放送局」や「CD」、「CDチェンジャーのCD」にタイトルをつけることができます。
（MP3/WMAディスクにタイトル入力は行えません。）

1 **タイトルをつけたいCDまたはラジオ放送局を選ぶ。**

2 **「TITLE ◷」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。**
詳しくは「タイトル／テキストを表示する」（16ページ）を参照。

3 **「TITLE ◷」を2秒以上押す。**

4 **10秒以内に「BAND/TRF」を押して、文字の種類を選ぶ。**

→カタカナ→ ひらがな → 漢字 → 大英字 → 小英字 → 数字/記号 ─┐（先頭に戻る）

5 **アルファベット／数字／記号／カタカナ／ひらがな入力**
①10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、入力したい文字記号を選ぶ。
- ページは「I◀◀」または「▶▶I」で切りかえる。

②10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を押して、1桁目を確定させる。

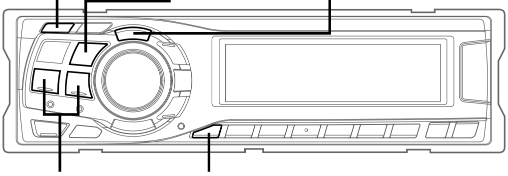
漢字入力
①10秒以内に「I◀◀」または「▶▶I」を押して、入力したい漢字の読み（音読み）を選ぶ。
②10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、入力したい漢字を選ぶ。漢字列は「F」で切りかえる。
③10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を押して、漢字を選択する。
- タイトルを修正したいとき
タイトル入力モード中に「SOURCE/POWER」を押して、入力したタイトル欄にカーソルを移動する。「ロータリーエンコーダー」を回転させて修正したい部分にカーソルを合わせ、再度「SOURCE/POWER」を押して、タイトル入力モードに戻して編集する。

6 **4〜5を繰り返し16桁（CDチェンジャーは8桁）まで入力できる。**
16桁未満のときは「**TITLE ◷**」を押して、タイトル入力を終了させる。

7 **タイトル表示モードを解除するには、「TITLE ◷」を押す。**

Memo
- ディスプレイに FULL DATA と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。
- タイトル名を消すには空白を選び、上記操作手順同様に入力します。
- 内蔵CDは最大CD18枚分までタイトルメモリーできます。
- ラジオ放送局には最大18局（FM/AM合わせて）まで、タイトルをメモリーできます。
- CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。
- 記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。ただし、CDチェンジャーの場合は、CDチェンジャーにより、消去されない場合があります。
- 手順**4**〜**6**の各操作は、10秒間操作を行わないと、入力モードが解除されます。
- 曲にタイトルをつけることはできません。
- 本機ではMP3/WMAファイルに、ファイル名、フォルダ名、タグ情報を入力することはできません。

タイトル／テキスト



スクロールの設定

1 **「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。**

2 **「I◀◀」または「▶▶I」を押して、SCROLLモードを選ぶ。**

3 **「ロータリーエンコーダー」を回転させて、スクロールの設定を切りかえる。**

SCROLL AUTO ⟷ **SCROLL MANUAL**
(工場出荷時の設定)

4 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

Memo
- スクロールするのは、CDテキスト／フォルダ名／ファイル名／タグ情報のみです。
- AUTOに設定すると、繰り返しスクロール表示を続けます。

記憶したタイトルを消す

本機で入力、記憶したタイトルを消去することができます。

1 **ラジオ/CD/CDチェンジャーモードのときに、「TITLE ◷」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。**
詳しくは、「タイトル／テキストを表示する」(16ページ）を参照。

2 **「TITLE ◷」を2秒以上押す。**
タイトルの1桁目が点滅する。

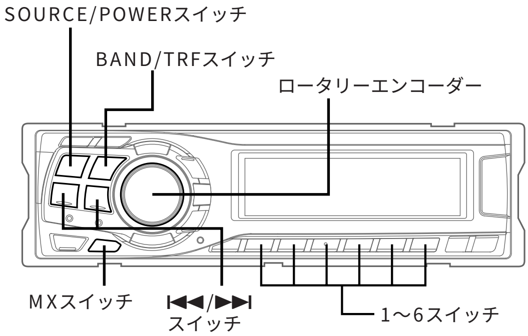
3 **10秒以内に「▶/II」を2秒以上押す。**
最初にメモリーされたタイトルが点滅する。

4 **10秒以内に「I◀◀」または「▶▶I」を押して消去したいタイトル名を探す。**
点滅しているのが選ばれているタイトル。

5 **10秒以内に「▶/II」を2秒以上押す。**
タイトルが消去される。

6 **タイトル消去モードを解除するには、「TITLE ◷ 」を押す。**

Memo
- CDテキストを消去することはできません。
- 手順3でタイトルが入っていない場合または手順5でタイトルを全て消去した場合は「NO DATA」と2秒間表示されます。



サウンド調整

MXモードの設定

MX（Media Xpander）は、FMラジオ/CD/MP3など音楽ソースごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

1 「MX」を押して、MX ONモードを選ぶ。

MX ON ⟷ MX OFF

2 「MX」を2秒以上押して、MX選択モードを呼び出す。

3 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて好みのモードを選ぶ。

- OFFを選ぶとMXの効果がOFFになる。
- 現在選んでいる音楽ソース（FMラジオ/CDなど）についてのレベルを調整できる。

FM： MXレベル1～3、OFF
こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

CD/WAV：MXレベル1～3、OFF
情報量豊富なCD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

MP3/WMA/MD/MS/AT3：MXレベル1～3、OFF
圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

DVD(Video CD)：MOVIE（MXレベル1～2）、MUSIC、OFF
- MOVIE（MXレベル1～2）：
  映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。
- MUSIC:
  ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。

AUX：MP3、MUSIC、MOVIE、OFF
接続するメディアに対応したMXモード（MP3、MUSIC、MOVIE）が選べる。

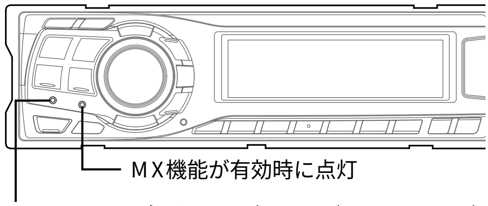
4 設定が終了したら「ロータリーエンコーダー」を押す。
通常モードに戻る。

Memo
- MXレベルは1→3の順に効果が大きくなります。
- ディフィート（7ページ）がONのときは、操作を受け付けません。
- FMラジオ/CD/MP3などの各音楽ソースごとに設定することができます。（AMラジオはMXを設定できません。）
- MP3/WMA／CD-DA混在ディスク再生時「MP3/WMA→CD-DA」、「CD-DA→MP3/WMA」に曲が切りかわったときは、MXモードの切りかえ処理のため、曲の演奏までに多少時間がかかることがあります。
- 手順1の操作で、MX OFFに設定すると全ての音楽ソースが「MX 0FF」となります。
- MX連動機能を持つオーディオプロセッサー製品（PXA-H700など）と組み合わせた場合、オーディオプロセッサー側のMX内容と連動させることができます。その場合オーディオプロセッサー側での設定が必要になります。詳しくは、オーディオプロセッサー側の取扱説明書をご覧ください。
その他のオーディオプロセッサーと組み合わせた場合は、連動できません。

サウンド調整機能（EQやX-OVERなど）は、外部オーディオプロセッサーを接続した場合、操作を受け付けません。



●サウンド調整でのインジケーターについて



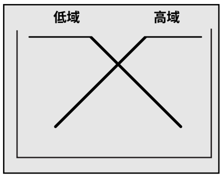
サウンド調整

X-OVERとは

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ　デバイディング　ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドのHPF（ハイパスフィルター）LPF（ローパスフィルター）の調整、スロープ（フィルター特性の減衰の傾き）、レベルを設定します。
接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。
また、「知っておきたい豆知識」（51ページ）も合わせてご覧ください。

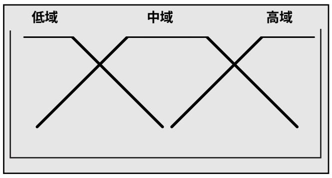
2Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz～200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0～−12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz～200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0～−12dB
フロントハイレンジ スピーカー	20Hz～200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0～−12dB



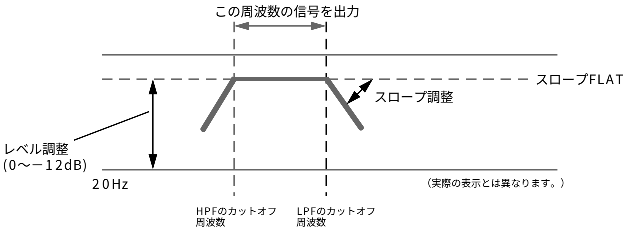
（実際の表示とは異なります。）

3Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz～200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0～−12dB
ミッドレンジ スピーカー	20Hz～200Hz	20Hz～20kHz	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0～−12dB
ハイレンジ スピーカー	1kHz～20kHz	—	FLAT(OFF)※1, 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0～−12dB

※1 「ツィーター設定」（31ページ）をUSER'Sに設定した場合のみ



（実際の表示とは異なります。）



Memo
- HPF（ハイパスフィルター）はある周波数より下の音域（低域）をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- LPF（ローパスフィルター）はある周波数より上の音域（高域）をカットして、低域の成分を通すフィルターです。

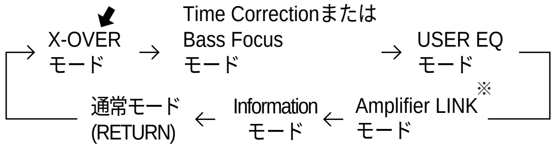
Memo
- スロープとは周波数が1オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何dB減衰するかを表す値です。
- スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
- スロープをFLAT(OFF)にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。
- ツィーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- 同じチャンネル内でHPFとLPFの周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPFとLPFの周波数を超える調整はできません。

X-OVERの調整と記憶/呼び出し

ここでは、X-OVERの調整手順を説明します。操作の前に、「X-OVERとは」（20ページ）や「知っておきたい豆知識」（51ページ）を参照してください。

1 **「MENU」を2秒以上押す。**

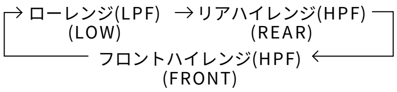
2 **「MENU」を押してX-OVERモードを選ぶ。**



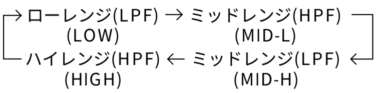
※ Amplifier LINK対応アンプ（MRD-M501／MRD-M301)接続時のみ

3 **15秒以内に「BAND/TRF」を押して、調整したいバンドを選ぶ。**

2Wayシステム



3Wayシステム



4 **15秒以内に「I◀◀」または「▶▶I」を押して、希望のカットオフ周波数（クロスオーバーポイント）を選ぶ。**

2Wayシステム

各チャンネルは20Hz～200Hz（1/3オクターブステップ）の周波数を選択できる。

3Wayシステム

ローレンジ（LPF）／ミッドレンジ（HPF）は20Hz～200Hz（1/3オクターブステップ）、
ミッドレンジ（LPF）は20Hz～20kHz（1/3オクターブステップ）、ハイレンジ（HPF）は1kHz～20kHz（1/3オクターブステップ）の周波数を選択できる。

5 **15秒以内に「SOURCE/POWER」を押して、スロープを調整する。**

調整可能なスロープ
6dB/12dB/18dB/24dB/FLAT(OFF)※1

※1 3Wayモードでのハイレンジ（HPF）は、「ツィーター設定」(31ページ)でUSER'Sに設定した場合にのみ、FLAT設定が可能になります。ただし、FLATに設定するとツィーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて調整してください。FLATにセットされる場合、メッセージが表示されます。設定には細心の注意を払ってください。

6 **15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、出力レベルを調整する。**

レベルは－12～0の調整が可能。

7 **さらに別のバンドを調整するには、手順3～6を繰り返し、すべてのバンドを調整する。**

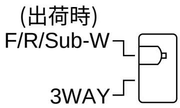
8 **調整が終了したら、「ロータリーエンコーダー」を押して確定させる。**

「ロータリーエンコーダー」を押さないと調整内容は確定されない。

9 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード（RETURN）を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**

通常モードに戻る。

> **Memo**
> - 調整途中で終了させるときは、「MENU」を2秒以上押してください。
> - 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。
> - **2Wayシステムと3Wayシステムについて**
>   本機底面部の3Way/2Way切りかえスイッチと連動しています。（40ページ参照）



F/R/Sub-W設定時：
2Wayシステムとして操作可能。
3WAY設定時：
3Wayシステムとして操作可能。

調整内容を記憶させるには

1 **調整モード中に「1」～「6」のいずれか1つを2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。**

> **Memo**
> - Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

記憶したX-OVERの調整値を呼び出すには

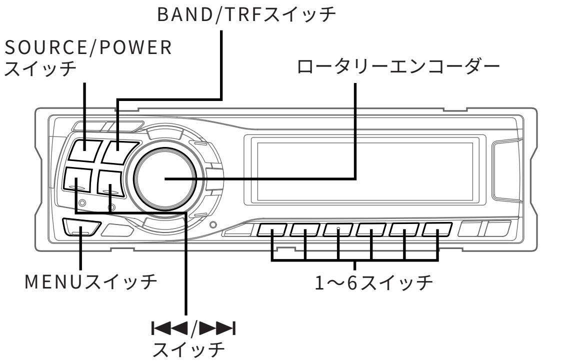
1 **「MENU」を2秒以上押す。**

2 **「MENU」を押してX-OVERモードを選ぶ。**

3 **15秒以内に「1」～「6」のいずれかを1つ押して、記憶した調整内容を呼び出す。**

4 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード（RETURN）を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**

通常モードに戻る。



Factory's EQモード（メーカー設定）を選ぶ

1 **「MENU」を押してFactory's EQモードを選ぶ。**

2 **15秒以内に「I◀◀」または「▶▶I」を押す。**
お好みのイコライザー特性を選ぶ。

FLAT(OFF)	フラットな周波数特性
ROCK	低域及び高域を強調する
POPS	中域中心に全体を強調する
NEWS	中域だけを強調する
USER'S 1〜6	次項目「パラメトリックEQの調整と記憶/呼び出し」で記憶したプリセットNo.を呼び出す

3 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

Memo
● ディフィート（7ページ）がONの時は、操作を受け付けません。

パラメトリックEQの調整と記憶/呼び出し

グラフィックEQでは隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリックEQは、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルをそれぞれ任意に調整可能ですので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うにはこのパラメトリックEQが有効なのです。
「周波数帯域と音質について」（52ページ）も調整の際の参考にしてください。

1 **「MENU」を2秒以上押す。**

2 **「MENU」を押してUSER EQモードを選ぶ。**

3 **15秒以内に「BAND/TRF」を押して、BANDを選ぶ。**

→ BAND1 → BAND2 → BAND3 → BAND4 → BAND5 →（BAND1へ戻る）

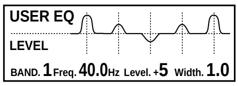
4 **15秒以内に「I◀◀」または「▶▶I」を押して、周波数を選ぶ。**

5 **15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。**

6 **15秒以内に「SOURCE/POWER」を押して、バンド幅（Q）を設定する。**

7 **さらに別のバンドを調整するには、手順3〜6を繰り返し、すべてのバンドを調整する。**

<表示例>



8 **調整が終了したら、「ロータリーエンコーダー」を押して確定させる。**
「ロータリーエンコーダー」を押さないと調整内容は確定されない。

9 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード（RETURN）を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

調整内容を記憶させるには

1 **調整モード中に「1」～「6」のいずれか1つを2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。**

> Memo
> ● Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

記憶した調整内容を呼び出すには

1 **「MENU」を2秒以上押す。**

2 **「MENU」を押してUSER EQモードを選ぶ。**

3 **15秒以内に「1」～「6」のいずれかを押して、記憶した調整内容を呼び出す。**

4 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード（RETURN）を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

> Memo
> ● 調整途中で終了させるときは、「MENU」を2秒以上押してください。
> ● ディフィート（7ページ）がONの時は、操作を受け付けません。
> ● 隣り合うバンドの周波数は、4ステップ以内に調整することはできません。
> ● 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。

タイムコレクション（時間補正）について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

1 **リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。**

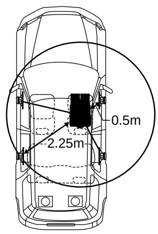
2 **一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。**

3 **スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s 気温20℃）で割る。**

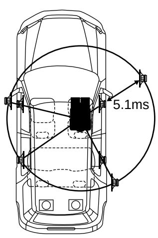
●具体例

1. 下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。
（条件）：
一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m
フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m
（算出）：
L＝2.25m－0.5m＝1.75m
補正時間＝1.75÷343×1000＝5.1（ms）

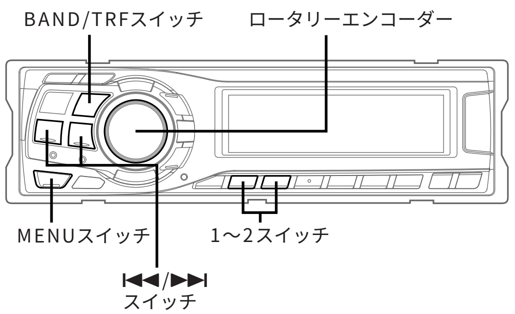
つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に5.1（ms）与えることで、見かけの距離を持たせて、
一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。
右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。
右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。



Bass Focusの設定

あらかじめ設定されているステップ値（時間差）を使用することで、前後/左右同時に時間差を設定でき、感覚的に時間補正を調整することができます。
ステップは、0.1ms間隔で0～99ステップ用意しています。

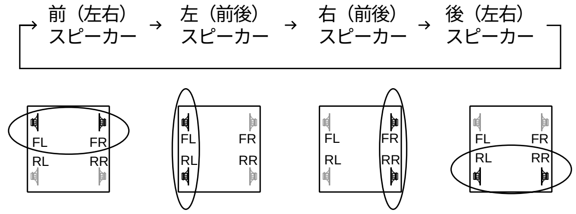
1 **「MENU」を2秒以上押す。**

2 **「MENU」を押してBass FocusモードまたはTime Correctionモードを選ぶ。**

3 **「⏮」または「⏭」を押して、Bass Focus設定モードにする。**

Bass Focus ⟷ Time Correction

4 **15秒以内に「BAND/TRF」を押して前後左右のスピーカーを選ぶ。**



Memo
● 運転席では低音の遅れが原因で音楽が鈍く聴こえがちです。Bass Focusを使うことで、音場位置を見かけ上前方に移動し、最適な音場バランスが得られます。

5 **15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、前後/左右のステップを設定する。**

6 **さらに別のチャンネル（スピーカー）を設定するには、手順4～5を繰り返す。**

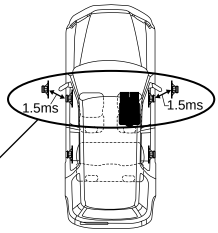
7 **設定が終了したら、「ロータリーエンコーダー」を押して確定させる。**
「ロータリーエンコーダー」を押さないと調整内容は確定されない。

8 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード（RETURN）を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

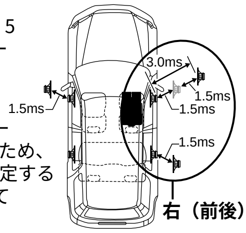
Memo
● Bass Focusでの設定は、タイムコレクションにも反映されます。

手順4、5の設定例

（1）フロント（左右）スピーカーをSTEP15に設定。
時間差はフロント（左右）スピーカー共に1.5msになる。



（2）右（前後）スピーカーをSTEP15に設定。時間差は右前スピーカーは3.0ms*、右後スピーカーは1.5msとなる。
*（1）の調整で、すでに右前スピーカーは1.5msに設定されているため、右側スピーカーをSTEP15に設定すると、右前スピーカーは加算されて3.0msとなる。



時間差表

STEP数	時間差(ms)	距離(cm)	STEP数	時間差(ms)	距離(cm)
0	0.0	0.0	50	5.0	171.5
1	0.1	3.4	51	5.1	174.9
2	0.2	6.9	52	5.2	178.4
3	0.3	10.3	53	5.3	181.8
4	0.4	13.7	54	5.4	185.2
5	0.5	17.2	55	5.5	188.7
6	0.6	20.6	56	5.6	192.1
7	0.7	24.0	57	5.7	195.5
8	0.8	27.4	58	5.8	198.9
9	0.9	30.9	59	5.9	202.4
10	1.0	34.3	60	6.0	205.8
11	1.1	37.7	61	6.1	209.2
12	1.2	41.2	62	6.2	212.7
13	1.3	44.6	63	6.3	216.1
14	1.4	48.0	64	6.4	219.5
15	1.5	51.5	65	6.5	223.0
16	1.6	54.9	66	6.6	226.4
17	1.7	58.3	67	6.7	229.8
18	1.8	61.7	68	6.8	233.2
19	1.9	65.2	69	6.9	236.7
20	2.0	68.6	70	7.0	240.1
21	2.1	72.0	71	7.1	243.5
22	2.2	75.5	72	7.2	247.0
23	2.3	78.9	73	7.3	250.4
24	2.4	82.3	74	7.4	253.8
25	2.5	85.8	75	7.5	257.3
26	2.6	89.2	76	7.6	260.7
27	2.7	92.6	77	7.7	264.1
28	2.8	96.0	78	7.8	267.5
29	2.9	99.5	79	7.9	271.0
30	3.0	102.9	80	8.0	274.4
31	3.1	106.3	81	8.1	277.8
32	3.2	109.8	82	8.2	281.3
33	3.3	113.2	83	8.3	284.7
34	3.4	116.6	84	8.4	288.1
35	3.5	120.1	85	8.5	291.6
36	3.6	123.5	86	8.6	295.0
37	3.7	126.9	87	8.7	298.4
38	3.8	130.3	88	8.8	301.8
39	3.9	133.8	89	8.9	305.3
40	4.0	137.2	90	9.0	308.7
41	4.1	140.6	91	9.1	312.1
42	4.2	144.1	92	9.2	315.6
43	4.3	147.5	93	9.3	319.0
44	4.4	150.9	94	9.4	322.4
45	4.5	154.4	95	9.5	325.9
46	4.6	157.8	96	9.6	329.3
47	4.7	161.2	97	9.7	332.7
48	4.8	164.6	98	9.8	336.1
49	4.9	168.1	99	9.9	339.6

タイムコレクションの調整と記憶/呼び出し

操作の前に、「タイムコレクション（時間補正）について」（23ページ）を参照してください。

1 **「MENU」を2秒以上押す。**

2 **「MENU」を押してBass FocusモードまたはTime Correctionモードを選ぶ。**

3 **「I◀◀」または「▶▶I」を押して、タイムコレクション設定モードにする。**

Bass Focus ⟷ Time Correction

4 **15秒以内に「BAND/TRF」を押して、調整するスピーカーを選ぶ。**

→ FL → FR → RL → RR → SWL → SWR

5 **15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、時間補正値（0.0〜9.9）を調整する。**

6 **さらに別のスピーカーを調整するには、手順4〜5を繰り返す。**

7 **調整が終了したら、「ロータリーエンコーダー」を押して確定させる。**
「ロータリーエンコーダー」を押さないと調整内容は確定されない。

8 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード（RETURN）を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

Memo
● タイムコレクション（時間補正）での調整値は、Bass Focusモードにも反映されます。

調整内容を記憶させるには

1 **調整モード中に「1」〜「6」のいずれか1つを2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。**

Memo
● Preset「1」〜「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

記憶した時間補正値を呼び出すには

1 **「MENU」を2秒以上押す。**

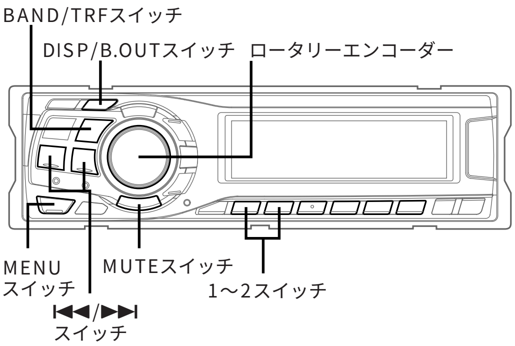
2 **「MENU」を押してBass FocusモードまたはTime Correctionモードを選ぶ。**

3 **「I◀◀」または「▶▶I」を押して、タイムコレクション設定モードにする。**

Bass Focus ⟷ Time Correction

4 **15秒以内に「1」〜「6」のいずれかを押して、記憶した調整内容を呼び出す。**

5 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード（RETURN）を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。



便利な機能

ミュートのON/OFF

1 **「MUTE」を押す。**
瞬時に音量が下がる。

2 **解除するには、再度「MUTE」を押す。**

操作音の切りかえ

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受け付けたことを伝えます。

1 **「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。**

2 **「⏮」または「⏭」を押して、BEEPモードを選ぶ。**

3 **「ロータリーエンコーダー」を回転させて、BEEPの設定を切りかえる。**

BEEP ON ⟷ BEEP OFF
(工場出荷時の設定)

4 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

Memo
● 可動ディスプレイの開閉時の警告ブザーは、BEEPのON、OFFに関係なく音を出します。

TUNER(FM)音質の設定

本機は「MAX TUNE SQ」を搭載しており、最高音質の性能が楽しめます。さらに、お好みで音質を設定することができます。

1 **「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。**

2 **「⏮」または「⏭」を押して、FM TUNER SETモードを選ぶ。**

3 **「ロータリーエンコーダー」を回転させて、TUNER(FM)の設定を切りかえる。**

STABLE ⟷ NORMAL ⟷ HI-FI
(工場出荷時の設定)

STABLE ：ノイズを抑えた設定
NORMAL ：標準設定
HI-FI ：音質重視設定

4 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

Memo
● HI-FI設定を使用の際、受信状態によってはノイズが目立つ場合があります。
この様なときにはNORMAL設定での使用をお勧めします。

照光ノブの色を切りかえる

1 **「MENU」を押してMulticolor Illuminationモードを選ぶ。**

2 **「⏮」または「⏭」を押して、色を切りかえる。**

→ BLUE ⟷ GREEN ⟷ AMBER ⟷ RED ⟷ (USER'S)※ ←

※USER'Sは、プリセットにメモリーした時のみ選択可能です。

3 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

照光ノブの色を調整する

1 「MENU」を押してMulticolor Illuminationモードを選ぶ。

2 「BAND/TRF」または「ロータリーエンコーダー」で色（1～512）を調整する。

- 「BAND/TRF」を押す。
  押すごとに30 STEPずつ色が変化する。
- 「ロータリーエンコーダー」を回す。
  1STEPずつ色が変化する。

・目安

1 ---- 19 ----184----363----512
（赤）（オレンジ）（緑）（青）（赤）

3 「1」～「6」のいずれかを2秒以上押して、記憶させる。

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

調整した照光ノブの色を呼び出す

1 「MENU」を押してMulticolor Illuminationモードを選ぶ。

2 「1」～「6」のいずれかを押して、記憶した色を呼び出す。

3 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

照光部の色を切りかえる

本機の照光部全体の色を2種類切りかえることができます。

1 「MENU」を押してMulticolor Illuminationモードを選ぶ。

2 「SOURCE/POWER」を押して、色を選ぶ。

CDA-9939J

BLUE ⟷ AMBER

CDA-9835J

GREEN ⟷ AMBER

3 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

グラフィックスクリーンを切りかえる

1 「DISP/B.OUT」を押して、希望の表示パターンを選ぶ。

No.	表示内容
1	各ソースの基本画面
2	動画表示　パターン1
3	動画表示　パターン2

動画表示の設定

「グラフィックスクリーンを切りかえる」の動画表示パターン1または動画表示パターン2の動画表示部分をお好みに合わせ5タイプより選ぶことができます。

1 「MENU 」を押してSETUP モードを選ぶ。

2 「I◀◀」または「▶▶I」を押して、BGV SELECT モードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、お好みのパターンを選ぶ。通常モードに戻る。

パターン1 ⟷ パターン2 ⟷ パターン3 ⟷ パターン4 ⟷ パターン5

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

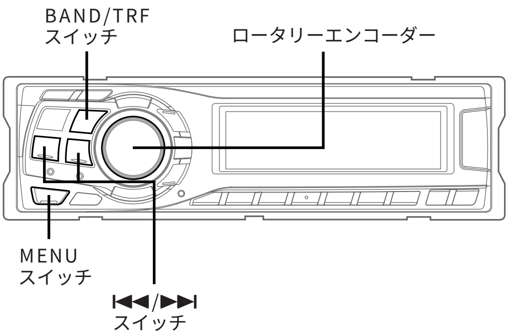
バックライトをOFFにする（BLACK OUT機能）

ディスプレイ表示部のバックライトを消灯することで、より良い高音質を実現させることができます。

1 「DISP/B.OUT」を2秒以上押す。
ディスプレイ表示部のバックライトが消える。

2 解除するには再度、「DISP/B.OUT」を2秒以上押す。

Memo
- バックライトが消灯しているときに他のスイッチ操作を行った場合、表示部のバックライトを5秒間だけ点灯させ、再び消灯させます。



ディスプレイの明るさ調整

「AUTO」に設定すると、ヘッドライト点灯のとき、ディスプレイが減光します。夜間、ディスプレイが明るすぎる場合には「AUTO」にすることをお勧めします。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「⏮」または「⏭」を押して、DIMMERモードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、DIMMERの設定を切りかえる。

DIMMER AUTO ⟷ **DIMMER MANUAL**
(工場出荷時の設定)

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

Memo
- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。
- 「MANUAL」に設定すると、ヘッドライトを点灯してもディスプレイの明るさは変わりません。

オープニングメッセージのON/OFF

本機には、いくつかのオープニングメッセージが用意されています。例えば、オープニングメッセージをON にした場合、本機の日付が12 月25 日のときに本機の電源をON にすると、クリスマス用のオープニングメッセージが表示されます。
カレンダー日付設定については「時刻/カレンダーを設定する」（30 ページ）を参照してください。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「⏮」または「⏭」を押して、OPENING MESSAGEモードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、ONまたはOFFを選ぶ。

OPENING MSG. OFF ⟷ **OPENING MSG. ON**
(工場出荷時の設定)

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

カレンダー表示パターンの設定

カレンダーの表示パターンをお好みに合わせ切りかえることができます。
カレンダー日付設定については「時刻/カレンダーを設定する」（30 ページ）を参照してください。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「⏮」または「⏭」を押して、CALENDARモードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、お好みのパターンを選ぶ。

mm/dd/yyyy ⟷ **dd/mm/yyyy** ⟷ **yyyy/mm/dd**
(工場出荷時の設定)

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

i-Personalize™

アルパインオーナー専用Webサイト上に車種・システムに合わせた車室内音響セッティングデータを公開しています。このデータベースをもとに自在にカスタマイズした音響セッティングデータを、本機にダウンロードすることができます。詳しくは、ALPINE Webサイトをご覧ください。

●i-Personalize™について

・アルパインのWebサイトから作成したデータをダウンロードし、CD-Rに保存した後、本機にダウンロードし記憶することができます。
サービスを開始するには下記のURLにアクセスし、画面上の指示に従って操作してください。
http://www.alpine.comまたはhttp://www.alpine.co.jp
ダウンロードできるデータ

パラメトリックEQ	パラメトリックEQモードのPreset6にメモリーします。
タイムコレクション	タイムコレクションモードのPreset6にメモリーします。
X-OVER	X-OVERモードのPreset6にメモリーします。
Profile	オープニングメッセージとして設定されます。
カレンダーメッセージ	カレンダーメッセージとして設定されます。

・ダウンロードデータのファイル名は、
「A__W＊＊＊＊＊.MP3」とする。

A_W＊＊＊＊＊.MP3
拡張子（固定）
識別子（任意の英数字、最大5文字）
ヘッダー（固定）

ファイル名はWebサイト上で設定できます。ただし、それ以降に変更はしないでください。動作不良の原因となります。

Memo
●ダウンロード手順については、ALPINEのWebサイトをご覧ください。
●外部オーディオプロセッサーを追加した場合は、ダウンロードしたデータを使用できません。
●HDA-5460MS、またはMDA-5060MSと接続した場合は、メモリースティック/HDD（HDA-5460MSのみ）を利用できます。メモリースティック/HDDに転送されたデータを次の「データのダウンロード」の操作で本機にダウンロードします。手順1でメモリースティック/HDDモードにしてください。メモリースティック/HDDへのデータ転送方法については、HDA-5460MS/MDA-5060MSの取扱説明書をご覧ください。

●データのダウンロード

1 データが入っているCD-Rディスクを挿入する。
すでにディスクが入っているときは、
「SOURCE/POWER」を押してCDモードにする。

2 「MENU」を押してi-Personalizeモードを選ぶ。

3 「I◀◀」または「▶▶I」を押して、YESを選ぶ。

YES ⟷ NO※

※ キャンセルする場合は、「NO」を選び「MENU」を押す。

ディスク内のデータサーチを開始し、データサーチ終了後に、最初のファイル名が表示される。

Memo
●データサーチでファイルが見つからない場合は、「NO FILE」と表示します。「NO FILE」表示は、5秒間何も操作しないと解除されます。

4 「ロータリーエンコーダー」を回転させてダウンロードするファイルを選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。

データのダウンロードを開始する。

データのダウンロードが正常終了すると確認画面を2秒間表示し、ファイル選択画面に戻ります。

確認画面のチェックボックスにチェックされている項目が正常にダウンロードされたデータを示します。

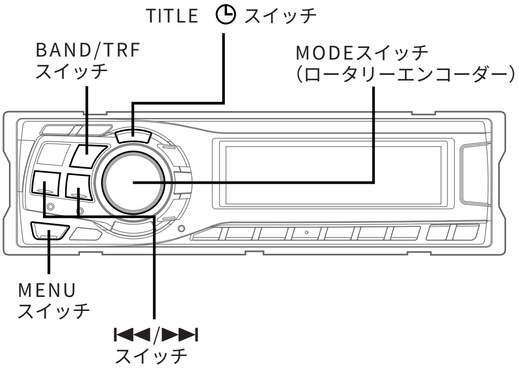
i - Personalize
☐ EQ　☐ PROFILE
☑ T.CORR ☑ CALENDAR MESSAGE
☑ X-OVER

☑ チェック有り
☐ チェックなし

・EQ：パラメトリックEQデータ
パラメトリックEQモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。
・T.CORR:タイムコレクションデータ
タイムコレクションモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。
・X-OVER:X-OVERデータ
X-OVERモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。

5 終了するには「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

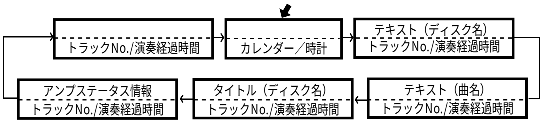
Memo
●新たにダウンロードした場合は、上書きでメモリーされます。
●プレイリスト再生中は、ダウンロードすることができません。



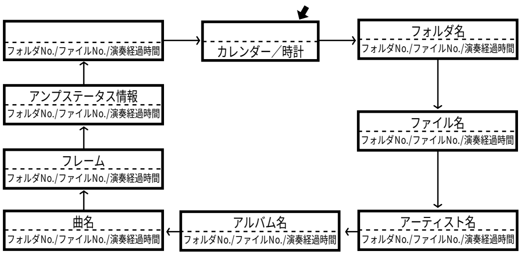
時刻を表示する

1 「TITLE ◷」を繰り返し押して、時刻表示モードを選ぶ。

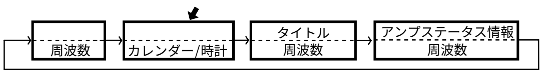
（CDモード表示例）※1



（MP3/WMAモード表示例）※1



（ラジオモード表示例）※1



※1　記載表示例は、通常画面モードの表示例です。ディスプレイ表示パターンによってかわります。「グラフィックスクリーンを切りかえる」（27ページ)参照。

Memo
- 時刻を表示している状態で、ラジオ、CDなどを操作すると、行った操作を5秒間表示した後、時刻表示に戻ります。

時刻／カレンダーを設定する

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「⏮」または「⏭」を押して、CLOCK モードを選ぶ。

3 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、「年」を調整する。
「年」を合わせたら、「ロータリーエンコーダー」を押す。

4 手順3を繰り返し行い「月」、「日」、「時」、「分」を調整する。

5 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

Memo
- どのモード（CD、ラジオ、チェンジャーなど）でも時刻を設定することができます。
- 時報に合わせたいときは、「時」設定後に「ロータリーエンコーダー」を長く押すと分表示が00となります。「: 30」を超えた表示のときに「ロータリーエンコーダー」を長押しすると「時」は繰り上がります。

デモンストレーション機能

本機には、表示と音の演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「⏮」または「⏭」を押して、DEMO モードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、DEMO ONにする。

DEMO ON ⟷ **DEMO OFF**
（工場出荷時の設定）

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
デモンストレーションモードになり、音と表示の演出のみの動作を自動的に行う。

デモンストレーションをご使用になったら、必ず解除する。

拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、SUBWOOFERモードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、SUBWOOFERをONにする。

SUBWOOFER ON ⟷ SUBWOOFER OFF
(工場出荷時の設定)

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

5 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を押してSUBWOOFERモードを選ぶ。

→ SUBWOOFER → BALANCE → FADER → DEFEAT → VOLUME ┐

Memo
● SUBWOOFERを選んだ後、「|◀◀」または「▶▶|」を押すと、サブウーハー出力の位相(NORMAL(0°)／REVERS(180°))を切りかえることができます。
お好みの音が得られる方を選んでください。

6 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、サブウーハー出力のレベル(0〜+15)を調整する。

Memo
● モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。

サブウーハー出力の設定

本機サブウーハー出力をステレオ出力またはモノラル出力に設定することができます。
組み合わせるサブウーハーに合わせて設定してください。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、SUBWOOFER モードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、SUBWOOFER STEREOまたはSUBWOOFER MONOを選ぶ。

SUBWOOFER STEREO ⟷ SUBWOOFER MONO
(工場出荷時の設定)

STEREO：サブウーハーステレオ(L/R)出力
MONO：　サブウーハーモノラル出力

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

ツィーター設定

「X-OVERの調整と記憶／呼び出し」(21ページ参照)において、3Wayモード時のハイレンジスピーカー(HPF)のスロープ設定でFLAT設定を可能にできます。ただし、FLATに設定するとツィーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて設定してください。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、TW SETUPモードを選ぶ。

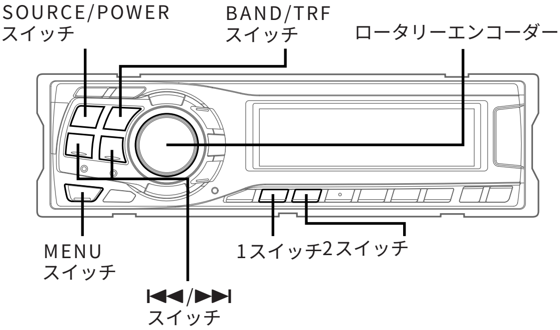
3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、MAKER'SまたはUSER'Sを選ぶ。

MAKER'S ⟷ USER'S
(工場出荷時の設定)

MAKER'S：ツィーター保護のため、3Wayモード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定でFLATに設定できません。
USER'S：　3Wayモード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定でFLAT設定ができます。設定には細心の注意を払ってください。

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

Memo
● 3Wayモード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定でFLATにセットされる場合、メッセージが表示されます。
● 3Way／2Way切りかえスイッチ(40ページ)が3WAYに設定されている場合のみTW SETUPモードを選択することができます。
● 外部オーディオプロセッサー接続時は設定できません。



外部アンプを接続する（CDA-9835Jのみ）

外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。次の手順で「POWER IC OFF」にしてください。

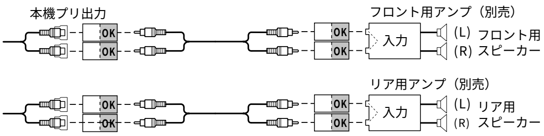
1 **「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。**

2 **「▌◀◀」または「▶▶▌」を押して、POWER ICモードを選ぶ。**

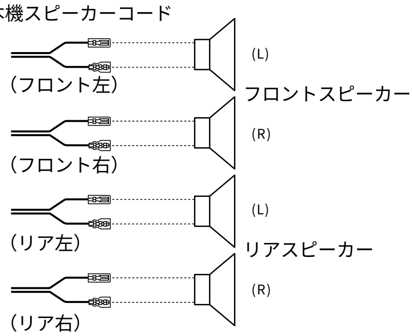
3 **「ロータリーエンコーダー」を回転させて、POWER IC OFFにする。**

POWER IC OFF ⟷ POWER IC ON
(工場出荷時の設定)

POWER IC OFF
本機のフロント/リアプリ出力と外部アンプをつないで、スピーカーを駆動するときに設定する。このとき、本機のスピーカーコードからは出力されない。



POWER IC ON
内蔵アンプでスピーカーを駆動するときに設定する。



Memo
● このシステムで「OFF」に設定するとスピーカーから音は出ません。

4 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

BASS Volumeを調整する

別売のAmplifier LINK対応アンプ（MRD-M501、MRD-M301)接続時、アンプの低音レベル調整を行います。

1 **「MENU」を2秒以上押す。**

2 **「MENU」を押してAmplifier LINKモードを選ぶ。**

3 **「▌◀◀」または「▶▶▌」を押してBASS VOLUMEモードを選ぶ。**

4 **「ロータリーエンコーダー」を回転させて、BASS Volumeレベルを調整する。**

・**右回し** ：レベルがUPする。
・**左回し** ：レベルがDOWNする。

5 **調整が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

AMPを呼び出して調整する

別売のAmplifier LINK対応アンプ（MRD-M501、MRD-M301)接続時、アンプの設定をヘッドユニットからも行うことができます。最大8台までのアンプの設定が可能です。

Memo
- ヘッドユニット側でアンプを調整中に、アンプ側で調整モードを変更しないでください。ヘッドユニットとアンプで調整モードがずれることがあります。

1 「MENU」を2秒以上押す。

2 「MENU」を押してAmplifier LINKモードを選ぶ。

3 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、調整したいAMP-ID（AMP1～AMP8）を呼び出す。

4 「BAND」を押して、調整モードを選ぶ。

→INPUT→LOW-PASS→SUBSONIC→P-EQ→BASS COMP→PHASE→TCR→TURN ON DELAY→OUTPUT DISABLE→

5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、調整する。

6 さらに設定項目がある場合は「ロータリーエンコーダー」を押す。
手順4で選択した項目にさらに設定項目がある場合は、手順5、6をくり返す。

7 手順4～6をくり返して、他の項目を調整する。

8 「1」または「2」を2秒以上押して、調整内容を記憶させる。

9 調整が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

Memo
- 設定項目の詳細については、Amplifier LINK対応アンプ（MRD-M501、MRD-M301）の取扱説明書をご覧ください。
- アンプ接続後にアンプを取り外したり、アンプの電源が入らない場合などは、「No Link」と表示されます。
- 複数のアンプと接続している場合は、アンプ側のIDを別々のIDに設定し直してください。表示がちらついて表示されることがあります。

記憶したAMP設定を呼び出す

別売のAmplifier LINK対応アンプ接続時、記憶したアンプの設定を呼び出すことができます。

1 「MENU」を押してAmplifier LINKモードを選ぶ。

2 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、AMP-ID（AMP1～AMP8）を切りかえる。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、Presetを切りかえる。

Preset1 ⟷ Preset2

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

外部アンプの情報を表示させる

Amplifier LINK対応の外部アンプ（MRD-M501、MRD-M301)を接続している場合、外部アンプの情報（電圧、電流、温度）をヘッドユニットに表示できます。

1 「TITLE ◷」を押してアンプステータス情報を表示させる。（16ページ参照）

電流　電圧

AMPERE:2.9A VOLTAGE:10.1V

Memo
- 温度表示は「グラフィックスクリーンを切りかえる」（27ページ）で、動画表示パターン1または動画表示パターン2を選択した場合に表示されます。摂氏／華氏の温度表示切りかえについては、次項目の「AMPの温度表示切りかえ」をご覧ください。

AMPの温度表示切りかえ

別売のAmplifier LINK対応アンプ（MRD-M501、MRD-M301)を接続している場合、温度表示を摂氏（°C)、または華氏（°F）に切りかえることができます。

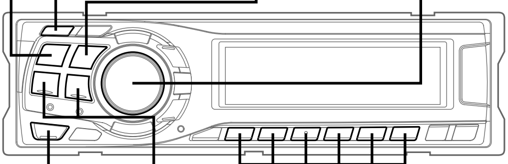
1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、A-LINK TEMPモードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、温度表示を切りかえる。

°C ⟷ °F
(摂氏。工場出荷時の設定)　(華氏)

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



外部入力の設定

別売のAi-RCA変換ケーブル（KCA-121B）と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、AUX INモードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、ONにする。

AUX IN OFF ⟷ AUX IN ON
（工場出荷時の設定）

Memo
● AUX INをONにした後に「|◀◀」または「▶▶|」で、（AUX表示切りかえ）を選び「ロータリーエンコーダー」を回してAUXモード時の「表示」を設定することができます。
例えば、テレビの時は「TV」、ゲームの時は「GAME」など本機側の表示を設定することができます。

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

5 「SOURCE/POWER」を押して、AUX（外部入力）モードを選び、音量などを調整する。

外部入力の設定（Versatile Link Terminal（KCA-410C）接続時）

別売のVersatile Link Terminal（KCA-410C）と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に入力させることができます。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、AUX INモードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、ONにする。

AUX IN OFF ⟷ AUX IN ON
（工場出荷時の設定）

Memo
● AUX INをONにした後に「|◀◀」または「▶▶|」で、（AUX1 NAMEまたはAUX2 NAME）を選び「ロータリーエンコーダー」を回してAUX1、2モード時の「表示」を設定することができます。

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

5 「SOURCE/POWER」を押して、AUX（外部入力）モードを選ぶ。

→ TUNER → CD → CHANGER※ → AUX →
（※CDチェンジャー接続時のみ）

6 「BAND/TRF」を押して、接続された製品を選ぶ。

外部割り込み時のディフィート設定

外部割り込みした音声に対し、本機のEQ/MXをディフィートさせて出力させます。
（ディフィート：EQを初期値、MXをOFFにします。）

1 「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。

2 「|◀◀」または「▶▶|」を押して、INT AUDIOモードを選ぶ。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、INT AUDIO ONにする。

INT AUDIO OFF ⟷ INT AUDIO ON
（工場出荷時の設定）

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

外部割り込みモードの設定

別売のAi割り込みBOX（NVE-K200）/Versatile Link Terminal（KCA-410C）/Ai-RCA変換ケーブル（KCA-121B）などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

1 **「MENU」を押してSETUPモードを選ぶ。**

2 **「I◀◀」または「▶▶I」を押して、INT MUTEモードを選ぶ。**

3 **「ロータリーエンコーダー」を回転させて、INT MUTE OFFにする。**

INT MUTE ON ⟷ INT MUTE OFF
（工場出荷時の設定）

4 **設定が終了したら「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

TV（Ai-NET対応）を操作する

放送局を選ぶ

1 **「SOURCE/POWER」を押して、TVモードにする。**

→TUNER → CD → TV※ → CHANGER※ →

（※各ユニットを接続している場合に表示）

2 **「BAND/TRF」を押してバンドを選ぶ。**

（例）
→TV1→TV2→TV3→

（バンド切りかえ表示は製品によって異なります）

3 **「TUNE/A.ME」を押して、チューニングモードを選ぶ。**

LOCAL　（SEEKモード）
⇕
MANUAL　（マニュアルモード）

> Memo
> ● **SEEKモードのとき**
> 受信可能な放送局（チャンネル）を自動的に探します。
> ● **マニュアルモードのとき**
> 1段階ずつチャンネルが変わります。

4 **「I◀◀」または「▶▶I」を押して、放送局を選ぶ。**

選んだ放送局を記憶する＜手動記憶＞

1 **「放送局を選ぶ」を参照して記憶させたい放送局に合わせる。**

2 **「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。**
押されたNo.に放送局が記憶される。

放送局を記憶する＜自動記憶＞

1 **「BAND/TRF」を押して記憶させたいバンドを選ぶ。**

（例）
→TV1→TV2→TV3→

（バンド切りかえ表示は製品によって異なります）

2 **「TUNE/A.ME」を2秒以上押す。**
電波の強いチャンネルを選択し、「1」～「6」に記憶される。

記憶した放送局を受信する

1 **「BAND/TRF」を押してバンドを選ぶ。**

（例）
→TV1→TV2→TV3→

（バンド切りかえ表示は製品によって異なります）

2 **「1」～「6」のうち1つを押す。**
ダイレクトに放送局が受信される。

> Memo
> ● Ai-NET対応TV(TVA-T017など)は現在発売されていません。

メカソフトのバージョンについて

メカソフトのバージョンを表示する

本機に内蔵するメカの、現在のソフトバージョンを表示させ、確認することができます。

1 **「MENU」を2秒以上押す。**

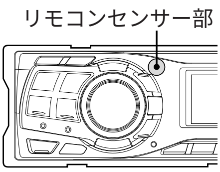
2 **「MENU」を押してInformationモードを選ぶ。**

ソフトバージョンが表示される。

3 **「MENU」を押して通常モード(RETURN)を選ぶ。または「MENU」を2秒以上押す。**
通常モードに戻る。

リモコン操作

使用時のご注意

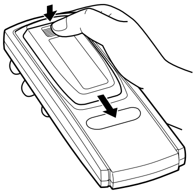


- リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。
- リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- リモコンは小型軽量な精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。
  衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気やホコリを避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池を入れる

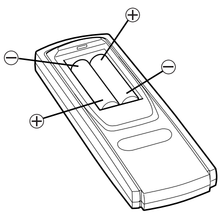
1　フタを開ける

フタを少し強めに押しながら矢印の方向へ押す。



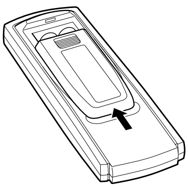
2　電池を入れる

本体の⊕、⊖表示通り入れる。



3　フタを閉める

“ カチッ ” と音がして固定される。

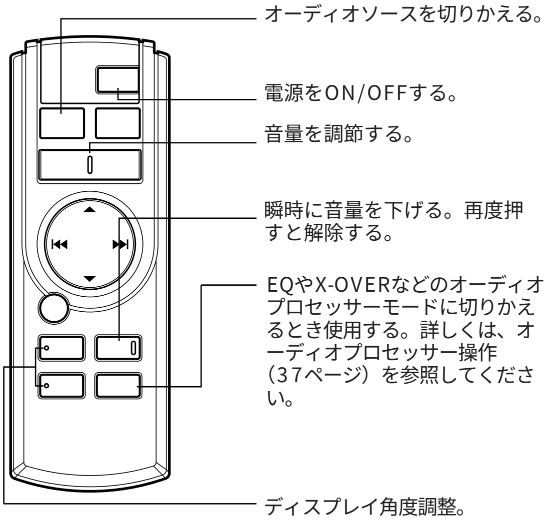


Memo
- 電池は単4乾電池（UM-4）×2をご使用ください。

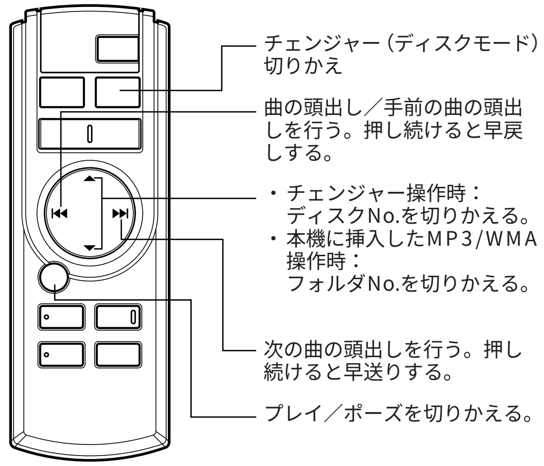
⚠ 警告

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

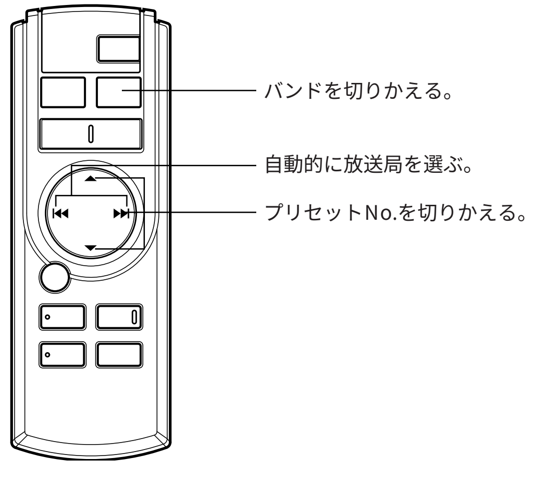
基本操作



CD(MP3・WMA)/チェンジャー操作



ラジオ操作



オーディオプロセッサー操作

手順			イコライザー特性を選ぶ	記憶した時間補正値の呼び出し	記憶したX-OVERの呼び出し
1	「A.PROC」を押して、モードを選ぶ	通常モード	EQ モード	タイムコレクションモード	X-OVER モード
2	「▲」または「▼」を押して、モードを選ぶ		FLAT ROCK POPS NEWS USER'S1-6	メモリー 1 メモリー 2 メモリー 3 メモリー 4 メモリー 5 メモリー 6	メモリー 1 メモリー 2 メモリー 3 メモリー 4 メモリー 5 メモリー 6

取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

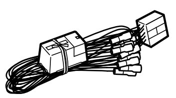
1. 正しい作業のコツ

1） ここからの説明は、**専門技術と経験のある方を対象**にしています。
2） 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
3） 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
4） 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
5） コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
6） 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
7） 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
8） 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
・RCAコード（ピンコード）
家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
9） スピーカーの接続
●純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
●スピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものをお使いください。
10) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
11) 取り付け場所について
CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
12) 水平に対して35度以内に取り付けてください。
13) 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

1．車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
2．付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード

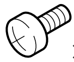


サラネジ（M5×8）



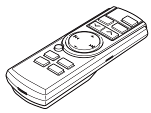
×4

バインドネジ（M5×8）

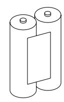


×4

リモコン



電池（単4）



3．バッテリーのマイナス端子を外す。
4．灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
5．車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
6．オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、**4. 取り付ける** 2 .で利用します。）

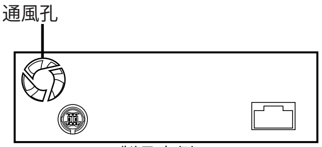
3. 接続する

1．41～42ページの基本接続図を参照して接続する。
●他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
●誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
2．ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
3．正しく接続されているか、✓点がもれているところはないか確認する。
4．バッテリーマイナス端子を接続する。
5．イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
●固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
6．本機の電源を切る。
7．イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

4.取り付ける

●CDA-9835Jのみ

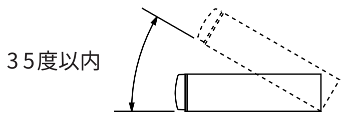
⚠注意 通風孔や放熱板をふさがない。
通風孔・放熱板をふさがないでください。通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



＜製品裏側＞

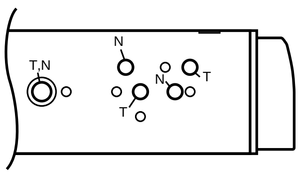
取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

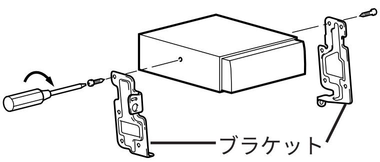


2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

取り付け用ネジ穴



N穴→ニッサン車専用
T穴→トヨタ・ミツビシ車専用



3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
   シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。

Memo
● 車両雑音から守るために
・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
・バッテリー電源コードとPINコードは離す。
・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

5.確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

Memo
IN-INTの接続について
IN-INTコードは次の組み合わせ時に使用します。
● 音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
● OUT-INT対応の製品と組み合わせる
Ai割り込みBOX（NVE-K200）、またはAi-RCA変換ケーブル（KCA-121B）などとOUT-INT対応のTV（TVE-T038など）を組み合わせて使用するときに接続します。
TVの音声を本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

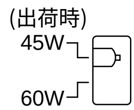
スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。
取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

切りかえは次の手順で行ってください。
1）電源コードを抜く。
2）棒状のものを垂直に挿入する。
3）指定のポジションに切りかえる。
4）電源コードを接続する。

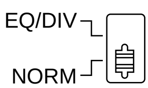
最大出力切りかえスイッチについて（CDA-9835Jのみ）

最大出力を60Wにすることができます。
60Wで使用する場合、組み合わせるスピーカーが「最大入力60W以上」「インピーダンス　3.2〜8Ω」であることを必ず確認してください。
指定以外のスピーカーをお使いになると、スピーカーの発火・発煙・破損の原因になります。
また、本機とバッテリーの接続には、必ず別売の電源延長コード（KWR-303G）を使用し直接車側のバッテリーへ接続してください。接続方法については、別紙の「ご注意」を参照してください。
上記条件以外は、必ず45Wのままで使用してください。



システムスイッチ

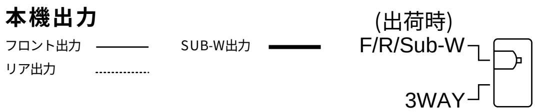
本機にAi-NET対応のイコライザーやオーディオプロセッサー等を接続するときは、「EQ/DIV」側に切りかえます。

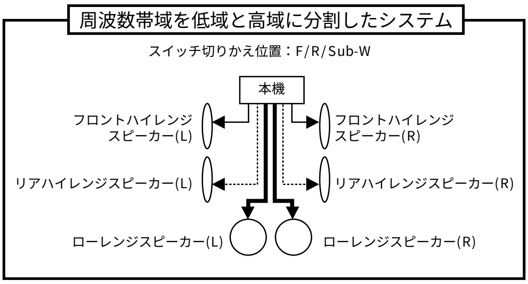


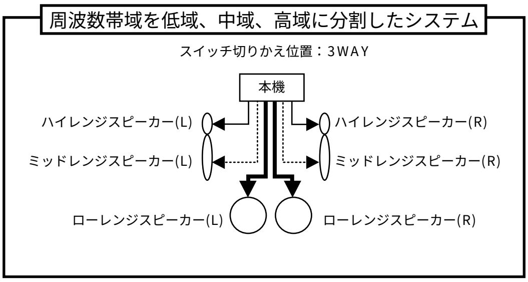
Memo
● チェンジャーのみを接続する（Ai-NET対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

3WAY/2WAY切りかえスイッチ

下記システム図を参考にスイッチを切りかえてください。
詳しくはお買い上げ店にご相談ください。



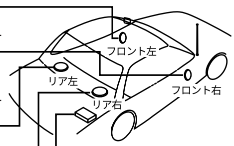


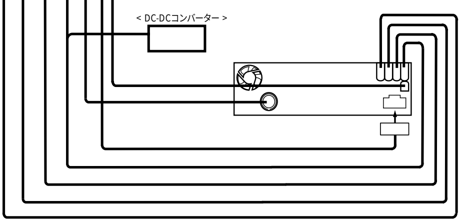


Memo
● ローレンジスピーカーへの接続は本機のSUB-W出力コードを使用します。
● フロント出力／リア出力は内蔵アンプを利用することもできます。
●「3WAY」に設定した場合、フェダー調整はできません。

基本接続図（CDA-9835Jのみ）

コード色	コード仕様	接続先
(L) 白 (R) 赤	● フロントプリ出力コード フロント左右のプリアンプ信号を出力します。	アンプ/イコライザーなど追加の際に使用 ①
(L) 白 (R) 赤	● リアプリ出力コード リア左右のプリアンプ信号を出力します。	アンプ/イコライザーなど追加の際に使用 ②
(L) 白 (R) 赤	● サブウーハー出力コード サブウーハー用信号を出力します。 サブウーハーを接続するときは、SUB-Wを「ON」に設定してください。	サブウーハー追加の際に使用 ③
桃／黒	● 音声割り込み（IN-INT）コード 通常は使用しません。	音声割り込み対応製品追加の際、またはナビゲーションのミュートコードへの接続に使用。詳しくは「IN-INTの接続について」(39ページ)を参照してください。
青／白	● リモートオンコード 本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器のON/OFFを連動させます。	アンプ／イコライザー追加の際に使用 ④
白 白／黒	● スピーカーコード（フロント左） フロント左スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが 3.2 ～ 8Ω のものを使用してください。)	フロント左のスピーカーに接続
灰 灰／黒	● スピーカーコード（フロント右） フロント右スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが 3.2 ～ 8Ω のものを使用してください。)	フロント右のスピーカーに接続
緑 緑／黒	● スピーカーコード（リア左） リア左スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが 3.2 ～ 8Ω のものを使用してください。)	リア左のスピーカーに接続
紫 紫／黒	● スピーカーコード（リア右） リア右スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが 3.2 ～ 8Ω のものを使用してください。)	リア右のスピーカーに接続
黒	● アースコード 車体の金属部分へしっかりと固定します。	車体に接続
橙	● イルミネーションコード スモールランプなどのライトに連動して本機ディスプレイ部の照明の明暗切りかえを行います。	車のスモールランプコードに接続
赤	● ACC電源コード エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。	ACCポジションで電源が供給されるコードに接続
黄 (チョークコイル、ヒューズ (15A))	● バッテリー電源コード エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。 最大出力スイッチを60Wで使用する場合は必ず、直接車側のバッテリーに接続してください。 最大出力スイッチを45Wで使用した場合は、通常、車のバッテリーコードの接続で十分ですが、さらに良い音で楽しみたいときは、直接車側のバッテリーに配線すると良いでしょう。 詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。	常に電源が供給される（バッテリー電源 プラス）コードに接続
青	● パワーアンテナ/ブースターコード ラジオのON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。また、ウインドウシールドアンテナなどブースターが付いている車輌はブースター電源としても使うことができます。（ブースターが付いているものは必ず接続してください。接続を忘れるとラジオの受信状態が極端に悪くなります。）	車のパワーアンテナコードまたはアンテナブースターに接続
	● Ai-NETコネクター Ai-NETチェンジャーなどでシステムアップするときに使用します。	Ai-NETコードでAi-NET製品と接続 ⑤
	● アンテナソケット アンテナからの信号を受けるコードです。	車のアンテナプラグに接続
橙	● COAX出力端子 COAX対応製品とシステムアップするときに使用します。	COAX入力端子と接続 ⑥
	● Amplifier LINKコネクター Amplifier LINKコントロール信号を出力します。	Amplifier LINKボックス（別売）に接続 ⑦





⚠ 注意

＜DC-DCコンバーター取り扱い上のご注意＞

● DC-DCコンバーターはフロアーマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。

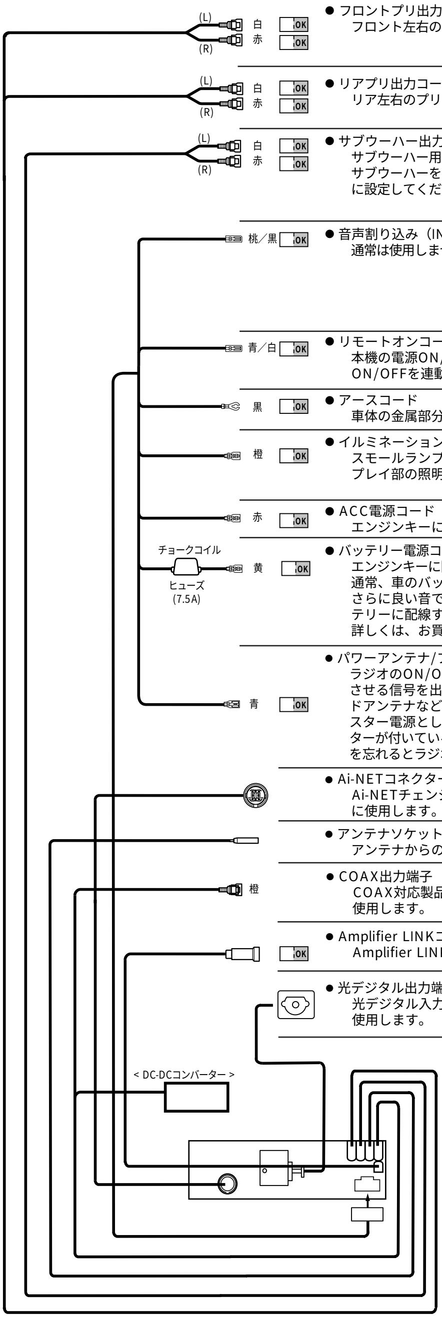
● DC-DCコンバーターのケーブルは他のオーディオケーブルといっしょに束ねないでください。雑音の原因になります。

● DC-DCコンバーターは熱を持ちますが、故障ではありません。

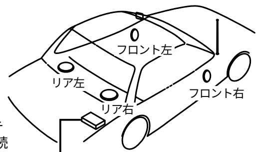
Memo

● 上記接続先の丸番号は、6.システムアップの例で使用します。

基本接続図（CDA-9939Jのみ）



コード色	コード仕様	接続先
白 / 赤	● フロントプリ出力コード フロント左右のプリアンプ信号を出力します。	アンプ/イコライザーなど追加の際に使用 ①
白 / 赤	● リアプリ出力コード リア左右のプリアンプ信号を出力します。	アンプ/イコライザーなど追加の際に使用 ②
白 / 赤	● サブウーハー出力コード サブウーハー用信号を出力します。 サブウーハーを接続するときは、SUB-Wを「ON」に設定してください。	サブウーハー追加の際に使用 ③
桃／黒	● 音声割り込み（IN-INT）コード 通常は使用しません。	音声割り込み対応製品追加の際、またはナビゲーションのミュートコードへの接続に使用。詳しくは「IN-INTの接続について」(39ページ)を参照してください。
青／白	● リモートオンコード 本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器のON/OFFを連動させます。	アンプ／イコライザー追加の際に使用 ④
黒	● アースコード 車体の金属部分へしっかりと固定します。	車体に接続
橙	● イルミネーションコード スモールランプなどのライトに連動して本機ディスプレイ部の照明の明暗切りかえを行います。	車のスモールランプコードに接続
赤	● ACC電源コード エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。	ACCポジションで電源が供給されるコードに接続
黄	● バッテリー電源コード エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。通常、車のバッテリーコードの接続で十分ですが、さらに良い音で楽しみたいときは、直接車側のバッテリーに配線すると良いでしょう。 詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。	常に電源が供給される（バッテリー電源 プラス）コードに接続
青	● パワーアンテナ/ブースターコード ラジオのON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。また、ウインドウシールドアンテナなどブースターが付いている車輌はブースター電源としても使うことができます。（ブースターが付いているものは必ず接続してください。接続を忘れるとラジオの受信状態が極端に悪くなります。）	車のパワーアンテナコードまたはアンテナブースターに接続
	● Ai-NETコネクター Ai-NETチェンジャーなどでシステムアップするときに使用します。	Ai-NETコードでAi-NET製品と接続 ⑤
	● アンテナソケット アンテナからの信号を受けるコードです。	車のアンテナプラグに接続
橙	● COAX出力端子 COAX対応製品とシステムアップするときに使用します。	COAX入力端子と接続 ⑥
	● Amplifier LINKコネクター Amplifier LINKコントロール信号を出力します。	Amplifier LINKボックス（別売）に接続 ⑦
	● 光デジタル出力端子 光デジタル入力対応製品と組み合わせるときに使用します。	システムアップの際に使用 ⑧



⚠注意 **<DC-DCコンバーター取り扱い上のご注意>**

- DC-DCコンバーターはフロアーマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
- DC-DCコンバーターのケーブルは他のオーディオケーブルといっしょに束ねないでください。雑音の原因になります。
- DC-DCコンバーターは熱を持ちますが、故障ではありません。

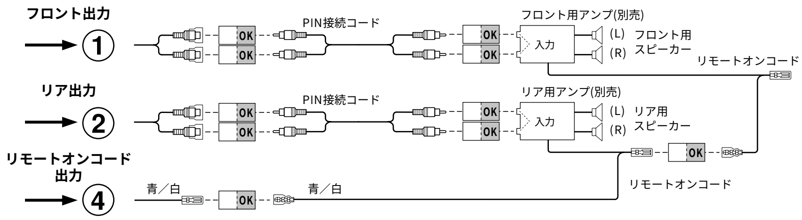
Memo
- 上記接続先の丸番号は、6.システムアップの例で使用します。

6. システムアップの例

1）外部アンプを接続する

システムスイッチ	NORM

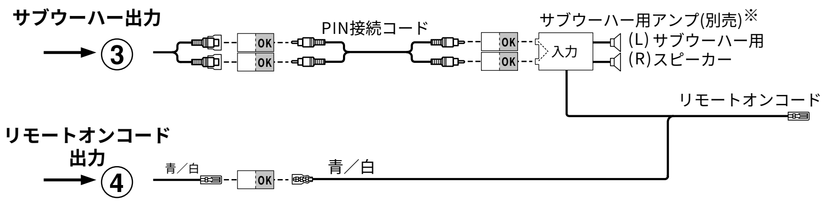
Memo
● CDA-9835Jで外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプを接続する（CDA-9835Jのみ）」（32ページ）を参照してください。



2）サブウーハーアンプを接続する

システムスイッチ	NORM

Memo
●「サブウーハーを接続する」（31ページ）を参照してください。

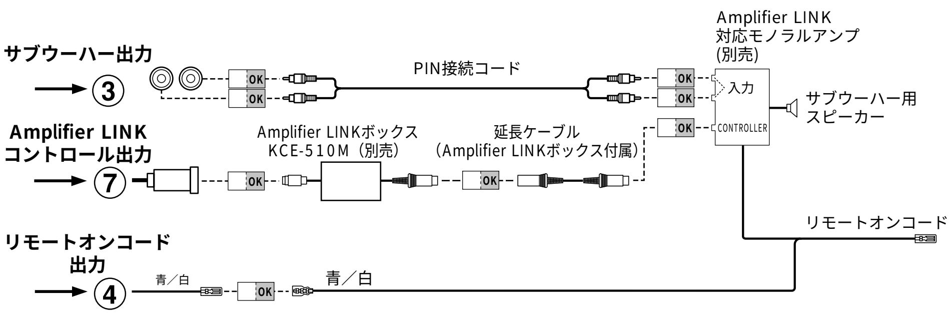


※必要に応じて、ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

3）Amplifier LINK対応モノラルアンプを接続する

システムスイッチ	NORM

Memo
● CDA-9835Jで外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプを接続する（CDA-9835Jのみ）」（32ページ）を参照してください。
●「サブウーハーを接続する」（31ページ）を参照してください。

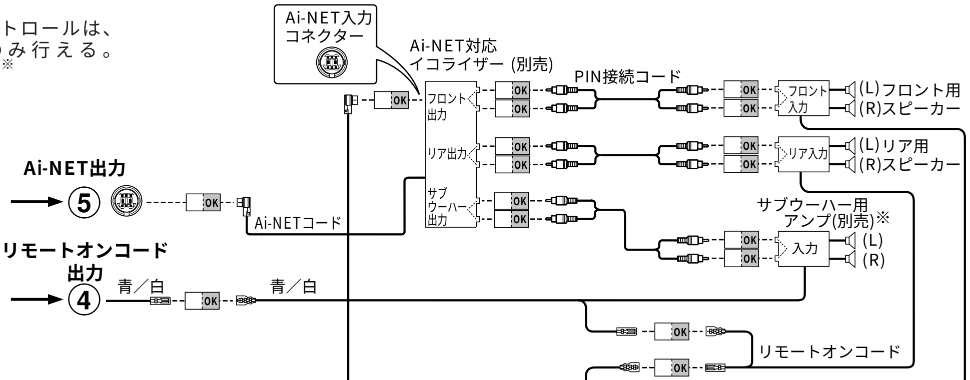


4)「Ai-NET対応イコライザー」+「チェンジャー」を接続する（外部アンプ使用時）

システムスイッチ	EQ/DIV

Memo ● チェンジャーのみを接続する（Ai-NET対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

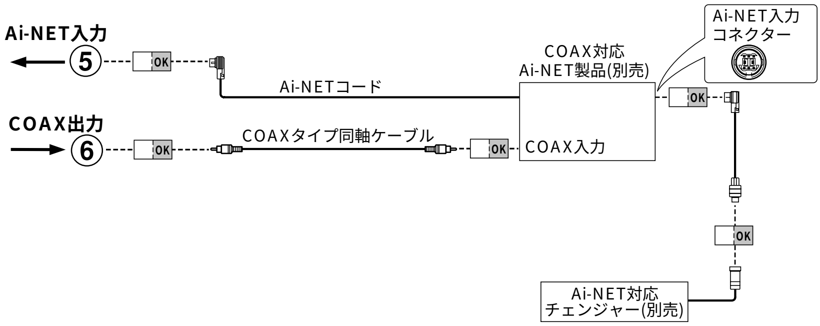
この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。（トーンバイパス機能）※※



※　ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。
※※ **トーンバイパス機能とは：**
ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。

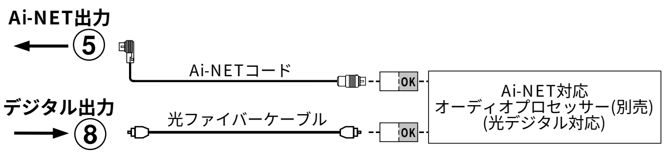
5)「COAX対応・Ai-NET製品」+「チェンジャー」を接続する

システムスイッチ	NORM



6）Ai-NET対応オーディオプロセッサー（光デジタル対応）を接続する（CDA-9939Jのみ）

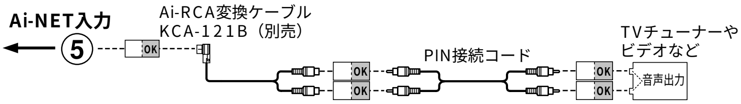
システムスイッチ	EQ/DIV



⚠ 注意 **光ファイバーケーブルをご使用になるときは、次の点に注意してください。**
- 光ファイバーケーブルを束ねるときには、小さく束ねないでください。（最小曲げ半径は、30mmです）
- 光ファイバーケーブルに製品などを載せないでください。

7）外部入力にビデオなどを接続する

システムスイッチ	NORM



Memo
●「外部入力の設定」（34ページ）を参照してください。

● 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
● KCA-410C（Versatile Link Terminal）と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど（外部入力）2台、計4台の製品を接続することができます。詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？ → 接続・配線は正しく行われていますか？ → 下の表をもう一度ご確認下さい。 → それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P48）にご相談ください。

●操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行なってください。

共通部

動作しない。
ディスプレイに何も表示されない。
●ヒューズが切れている。
・規定容量のヒューズと交換する。（→P41,42）
●内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
・リセットスイッチをボールペンの先などで押す。（→P6）

電源が入るが音が出ない。
●音量レベルが最小になっている。
・音量レベルを上げる。（→P7）
●MUTEがONになっている。
・MUTEを解除する。（→P26）
●フェダーの設定が適切でない。
・2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。（→P7）

警告ブザーが鳴る。
●ディスプレイが開ききった状態で約30秒経過した。
・「⏏」を押してディスプレイを閉める。（→P6）

記憶させた内容が消えてしまった。
●リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
・もう一度記憶する。（→P14、17、30）
●バッテリーコードの接続ミス
・接続を確認する。（→P41,42）

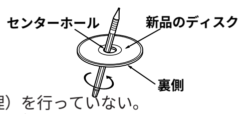
ディスプレイが暗い。
●気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
・しばらく待つ。

CD部

ディスクが入らない。
●すでに別のディスクが入っている。
・ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。／音がとぶ。／音が歪む。／早送り/早戻しができない。
●車内温度が50℃以上ある。
・車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
●ディスクに傷が付いている。
ディスクがひどく汚れている。
録音状態が良くない。
音楽用ディスクでない。
本機対応のディスクでない。
・他のディスクを再生してみる。
●結露している。
・しばらく放置してから使う。
●ピックアップレンズが汚れている。
・メンテナンスをする。（お問い合わせ窓口へ）（→P48）
市販のレンズクリーナーは、使用できません。

ディスクが勝手にイジェクトする。
●ディスクの側面／センターホールにバリがある。
・ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RWが再生できない。
●クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っていない。
・クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、試してみる。

MP3/WMAが演奏されない。
●書き込みに失敗している／対応フォーマット以外で書き込まれている。
・書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMAについて」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。（→P50）
●作成したライティングソフトによっては再生できない場合がある。
・他のソフトで試してみる。

ラジオ部

受信できない。
雑音が入る。
●アンテナが接続されていない。
・アンテナが確実に接続されているか確認する。
●アンテナが伸びていない。
・アンテナを伸ばす。
・パワーアンテナ/ブースターコードが接続されているか確認する。
●放送局の周波数が合っていない。
・周波数を正しく合わせる。（→P14）
●周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
・見通しが良いところに移動する。
●アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
・アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。
●電波の弱い地域にいる。
・ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。（→P14）

メッセージが表れたら…（CD部）

NO DISC	●ディスクが入っていない。 ・ディスクを入れる。 ●ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。 ・次の方法でディスクを取り出す。 ①「⏏」を押す。可動ディスプレイが開く。 ②可動ディスプレイが開いた状態で「⏏」を2秒以上押す。
HIGH-TEMP	●車内温度が高すぎる。 ・車内温度を常温まで下げる。
ERROR	●ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／音楽用ディスクでない。 ・「⏏」を押して、ディスクを交換する。 ●メカニズムエラー。 ・①「⏏」を押して、ディスクを取り出す。イジェクトできないときは、「⏏」を2秒以上押して、ディスクを取り出す。それでもイジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。 ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「⏏」を押す。 ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
NO TEXT	●テキストが入力されていない。 ・CDテキスト対応のCDと交換する。
NO SUPPORT	●本機（チェンジャー）で対応していない文字情報が入力されている。 ・本機で対応している文字情報が入力されたディスクを使用する。（本機では、「漢字」／「ひらがな」などは、表示されない。）
NO DATA	●MP3/WMAファイルにタグ情報が入力されていない。 ・タグ情報が入力されているMP3/WMAファイルを演奏する。
PROTECT	●コピープロテクト（著作権保護）されているWMAファイルを演奏した。 ・コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
UNSUPPORT	●本機指定のWMAフォーマットで書き込みされていない。 ・本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

メッセージが表れたら…（チェンジャー部（オプション））

NO MAGZINE	●マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。 ・マガジンをCDチェンジャーにセットする。
NO DISC	●ディスクが入っていない。 ・ディスクを入れる。
HIGH-TEMP	●車内温度が高すぎる。 ・車内温度を常温まで下げる。
ERROR-01	●ディスクがマガジンに戻っていない。 ・①「⏏」を押す。 ②空のマガジンを入れ、もう一度「⏏」を押しディスクを回収する。 ●メカニズムエラー。 ・①「⏏」を押す。 ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③それでも復旧しない…修理ご相談窓口へ。
ERROR-02	●ディスクがマガジンに戻っていない。 ・①「⏏」を押す。 ②空のマガジンを入れ、もう一度「⏏」を押しディスクを回収する。

規格

チューナー部

受信周波数	AM；522～1,629kHz, FM；76.0～90.0MHz
実用感度	AM；22.5μV, FM；0.8μV（75Ω）:9.3dBf（新IHF）
ステレオセパレーション	FM；45dB以上
SN比	FM；80dB以上
イメージ妨害比	FM；80dB以上
IF妨害比	FM；80dB以上

CD部

方式	光学式（コンパクトディスク方式）
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル（ステレオ）
周波数特性	5Hz～20kHz（±1dB）
ダイナミックレンジ	95dB（1kHz）以上
SN比	105dB（1kHz）以上
高周波歪率	0.008%（1kHz）以下
チャンネルセパレーション	85dB（1kHz）以上
ワウフラッター	測定限界以下

一般

使用電源	DC14.4V（動作範囲；11～16V）
アース方式	マイナスアース
最大出力	60W×4（CDA-9835Jのみ）
定格出力	27W×4（CDA-9835Jのみ）
音声出力レベル	プリアウト：4V／10KΩ（最大） （フロント／リア／サブウーハー）
外形寸法	178（幅）×50（高さ）×160（奥行）mm
重量	1.8 kg

Windows Media™およびWindows®ロゴは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
  まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または48ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。
- **保証期間中の修理**
  保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
  製造打切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または48ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(般)　　（平成 16 年 5 月 15 日現在）

お問い合わせ窓口

●製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
●修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
●ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

インフォメーションセンター　• TEL:048-662-6636
インフォメーションセンター 西日本分室　• TEL:06-6386-2236
• 電話は混雑が予想されます。FAXをおすすめします。
FAX:048-662-6676
• 電話受付時間　土日祝日、弊社休業日を除く 9:30～17:30

営業所・販社名	電話番号	住所	担当 都道府県
アルパインマーケティング（株）			
本部	03-5496-8231	〒141-0031 東京都品川区西五反田 1 丁目 1 番 8 号	
北海道エリア			
札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北 1 条西 22 丁目 2 番 1 号 上野ビル	北海道全域
東北エリア			
仙台オフィス	022-239-5331	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町 3 丁目 9 番 5 号	宮城県 / 山形県 / 秋田県
郡山オフィス	024-925-3811	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池 11 番 5 号	福島県
盛岡オフィス	019-664-1210	〒020-0114 岩手県盛岡市高松 4 丁目 2 番 2 号 オリエント 5 ビル	青森県 / 岩手県
北関東エリア			
埼玉オフィス	048-664-7701	〒331-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 3 丁目 179 番	埼玉県
高崎オフィス	027-361-5813	〒370-0073 群馬県高崎市緑町 3 丁目 16 番 6	群馬県
松本オフィス	0263-48-4772	〒390-0852 長野県松本市島立 830 番地の 11 深澤ビル 102 号	長野県 / 山梨県
宇都宮オフィス	028-610-8890	〒321-0942 栃木県宇都宮市峰 2-28-12	栃木県
新潟オフィス	025-257-8680	〒950-0852 新潟県新潟市石山 1 丁目 3-6 エクセレント石山	新潟県
東関東エリア			
東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町 2-406-1	千代田区/中央区/江東区/墨田区/台東区/荒川区 / 文京区 / 江戸川区 / 足立区 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア			
東京オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1767 番地 アルプス電気横浜事業所内 5F	東京都(千代田区/中央区/江東区/墨田区/台東区 / 荒川区 / 文京区 / 江戸川区 / 足立区以外)
神奈川オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1767 番地 アルプス電気横浜事業所内 5F	神奈川県 / 静岡県(大井川以東)
中部圏エリア			
中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市名東区猪子石 3 丁目 108	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西)
北陸オフィス	076-240-8111	〒921-8066 石川県金沢市矢木 3 丁目 72 番 1 号	石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア			
大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア			
岡山オフィス	086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今 4 丁目 5 番 2 号	岡山県 / 島根県 / 鳥取県
広島オフィス	082-846-1175	〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園 2 丁目 11 番 16 号	広島県 / 山口県
高松オフィス	087-869-3086	〒761-8071 香川県高松市伏石町 1473-11	徳島県 / 香川県 / 愛媛県
九州エリア			
福岡オフィス	092-452-8870	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号ヒロタビル7号	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県
長崎オフィス	095-727-1581	〒854-0074 長崎県諫早市山川町 3 の 13	長崎県
鹿児島オフィス	099-218-8321	〒890-0005 鹿児島県鹿児島市下伊敷1丁目53番25号ティアラハイツ102	鹿児島県 / 宮崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町 113 番地の 1	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原 133 の 1	兵庫県
アルパイン高知販売(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町 3 丁目 10 番 8 号	高知県
(株)パルス	098-866-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝 217 番地 3	沖縄県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス（株） 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道／青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／栃木県／茨城県／群馬県／東京都／神奈川県／埼玉県／千葉県／新潟県／長野県／山梨県
アルパインカスタマーズサービス（株） 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県／愛知県／三重県／岐阜県／福井県／富山県／石川県／滋賀県／京都府／大阪府／和歌山県／奈良県／兵庫県／岡山県／島根県／鳥取県／広島県／山口県／香川県／愛媛県／徳島県／高知県／福岡県／佐賀県／大分県／熊本県／長崎県／鹿児島県／宮崎県／沖縄県

修理ご相談窓口

名　称	電話番号	住　所
北海道		
西島家電商事札幌店	011-762-0458	〒001-0925　札幌市北区新川5条2丁目3-18
北欧電子(株)	011-661-2414	〒063-0033　札幌市西区西野3条3丁目5番地1号
輪島電装(株)	0138-48-8181	〒041-0824　函館市西桔梗町168番地の2
千代田電装工業(株)	0166-22-8455	〒070-0034　旭川市四条通2丁目左8-9-10
(有)北網通信特機	0157-61-3843	〒090-0058　北見市高栄西町6丁目4番4号
青森県		
(有)太陽電機	0178-45-5300	〒031-0071　八戸市沼館1-19-5
(有)三富電装	0178-29-4410	〒039-1163　八戸市高州2丁目23-16
岩手県		
(有)交通電機商事	0196-87-1561	〒020-0172　岩手郡滝沢村鵜飼字上高柳64
秋田県		
管電装	0188-68-2761	〒010-0802　秋田市外旭川字鳥谷場212-2
山形県		
カーサウンドサイトー	0236-24-8953	〒990-2321　山形市桜田西3丁目4-7
(有)山王電子サービス	0234-22-1832	〒998-0841　酒田市松原南21-4
宮城県		
(株)日本電機サービス(仙台)	022-254-4531	〒983-0005　仙台市宮城野区福室字産興35
(有)ササキサウンド	022-348-3633	〒981-3341　黒川郡富谷町成田2丁目3-3 松下ベンチャーラボ102号
(合)佐々木電化商会	022-362-4332	〒985-0045　塩釜市西玉川11-20
大苗代電機	0225-22-4996	〒986-0833　石巻市日和ケ丘4-1-10
フジ電装	0229-23-8266	〒989-6143　古川市中里1丁目12番5号
福島県		
(有)長南電機	0245-45-5161	〒960-8153　福島市黒岩堂の後51-1
芳広通信特機サービス	0249-43-5876	〒963-0101　郡山市安積町日出山1丁目95-3
エンドー電機システムズ	0249-52-8417	〒963-8035　郡山市希望ヶ丘10-20
(株)オートデンソーマルヤマ (郡山店)	024-945-5388	〒963-0111　郡山市安積町荒井字八丁5-2
(会津支店)	0242-24-1717	〒965-0025　会津若松市扇町101
(白河店)	0248-23-4555	〒961-0076　白河市五番町川原50番地の1
茨城県		
(株)日本電機サービス(茨城)	0292-47-3231	〒310-0844　水戸市住吉町64
(株)デンソー東京(水戸千波支店)	0292-43-0516	〒310-0851　水戸市千波町2345-13
栃木県		
(株)日本電機サービス(栃木)	028-648-6291	〒320-0851　宇都宮市鶴田町1362-2
サウンドサービス	028-653-8623	〒321-0131　宇都宮市宮の内1-173-38
群馬県		
(株)日本電機サービス (北関東)	0276-46-5885	〒373-0818　太田市小舞木町377
グリンニックスサービス	0273-82-5024	〒379-0132　安中市高別当709-1
長野県		
恩田電子サービス	0263-53-6723	〒399-0705　塩尻市広丘堅石2146-339
新潟県		
(有)ムツミ電装	025-285-1919	〒950-0964　新潟市網川原2-43-6
(株)丸山電機	0258-27-0009	〒940-2112　長岡市大島本町5-118-10
東京都		
アース電機(株)	03-3758-7821	〒146-0095　大田区多摩川2-9-17
アライ電機産業(株)	03-3925-1602	〒179-0075　練馬区高松6-33-14
(株)日本電機サービス(東京)	03-3395-3681	〒167-0042　杉並区西荻北1-8-20
(有)キャリーサービス	03-3671-7001	〒124-0021　葛飾区細田3-3-4
三共無線(有)目黒営業所	03-3719-3525	〒153-0042　目黒区青葉台1-27-15
(有)テクニカルサービス	03-3558-7008	〒115-0051　北区浮間2-6-10
(株)日本電機サービス(本社)	0425-58-7773	〒197-0803　あきる野市瀬戸岡255
叶電機	0425-51-9350	〒197-0011　福生市福生2241番地　P108号
ALサンライズ	0428-32-6977	〒198-0024　青梅市新町5-3-2
神奈川県		
(株)日本電機サービス (神奈川)	045-953-2510	〒241-0031　横浜市旭区今宿西町255
関東電子サービス(株)	045-934-9091	〒226-0023　横浜市緑区小山町292-7
(株)エルフエレクトロ	045-242-0029	〒220-0022　横浜市西区花咲町4丁目116番地
埼玉県		
(株)日本電機サービス(埼玉)	048-651-2327	〒330-0033　さいたま市本郷町1135-1
千葉県		
(株)日本電機サービス(千葉)	043-216-0580	〒262-0003　千葉市花見川区宇那谷町1501-1
静岡県		
(株)日本電機サービス(静岡)	054-247-2522	〒420-0804　静岡市竜南1-16-1
三和電子サービス(株)	053-448-8551	〒432-8061　浜松市入野町9156

(般)

名　称	電話番号	住　所
愛知県		
(株)日本電機サービス (名古屋)	052-702-1071	〒465-0067　名古屋市名東区猪高町 大字高針字メクソ10-1
(株)センターコバヤシ	052-881-3400	〒466-0059　名古屋市昭和区福江3丁目1-40
名陽電機(株)	052-761-5306	〒466-0853　名古屋市昭和区川原通り1-2
名電機器商会	052-241-9797	〒460-0007　名古屋市中区新栄3-11-24
渡辺電機商会	052-914-3321	〒462-0023　名古屋市北区安井1-11-1
牧サービス電機	052-793-6844	〒463-0081　名古屋市守山区川宮町394-1
(有)前田電機	052-561-5110	〒451-0051　名古屋市西区則武新町2丁目25番地6号
サカタ電機	052-805-7887	〒468-0043　名古屋市天白区菅田2丁目701
(有)横井計器	0562-48-5223	〒474-0046　大府市吉川町6丁目40番地
フジミサウンド(株)	0587-55-8511	〒483-8222　江南市赤童子町藤宮41
三重県		
FIX	0593-80-3134	〒510-0244　鈴鹿市白子町字北新田1896-1
(有)今尾電機	0593-82-1287	〒513-0816　鈴鹿市南玉垣町5434-1
富山県		
ナカノ商会	0766-54-1585	〒939-0413　射水郡大門町串田1268
石川県		
辰口電機	0761-51-2498	〒923-1201　能美郡辰口町岩内ロ75-2
福井県		
(株)パーメンテサービス	0776-35-8182	〒918-8015　福井市花堂南1丁目5-4
滋賀県		
滋賀オーディオサービス	0748-55-2070	〒529-1541　蒲生郡蒲生町蒲生堂338-78
京都府		
洛西電子	075-331-4847	〒610-1153　京都市西京区大原野南春日町388
電装整備(株)	075-821-5843	〒602-8365　京都市上京区丸太町御前通上ル
ヤハタ電気	075-605-1903	〒612-8474　京都市伏見区下鳥羽円面田町45-1 トロス1F
大阪府		
(株)日本電機サービス(関西)	06-6827-0601	〒533-0001　大阪市東淀川区井高野4丁目6-27
サンコーオーディオ	06-6768-0597	〒540-0005　大阪市中央区上町1丁目11-3 第2清水谷ビル1F
タツミ電気商会	06-6573-3605	〒552-0007　大阪市港区弁天3-1-4
フジオーディオサービス	0722-23-8695	〒590-0074　堺市北花田口町1-2-27
和歌山県		
ミナト電機商会	0734-23-0681	〒640-8251　和歌山市南中間町48
奈良県		
エルバック(株)	0742-36-8700	〒630-8132　奈良市大森西町21-26
兵庫県		
ニシオサービス	078-652-1099	〒652-0873　神戸市兵庫区金平町1丁目32-9
兵庫電子サービス	078-652-3646	〒652-0834　神戸市兵庫区本町1丁目1-8 浅沼マンション1F
(株)細道電子	078-302-6615	〒650-0046　神戸市中央区港島中町3丁目2-1
太子電器	0792-77-3703	〒671-1523　揖保郡太子町東南字小川647-3
岡山県		
中田電器	086-263-9146	〒702-8058　岡山市並木町2丁目8-17
大熊電機	086-422-6460	〒719-1173　都窪郡清音村黒田14
広島県		
(有)北洋電子	082-291-6537	〒733-0012　広島市西区中広町2丁目23番4号
(有)伸栄サービス	0849-31-3761	〒721-0966　福山市手城町1丁目2-31
香川県		
(有)松岡電機サービス	087-843-1040	〒761-0102　高松市新田町甲470-11
愛媛県		
(有)増田電機サービス	0899-57-3174	〒791-1112　松山市南高井町1982-3
徳島県		
みの電子パーツ(株)	088-655-5958	〒770-0804　徳島市中吉野町2丁目18-2
高知県		
(株)シキデン	0888-83-5101	〒780-0056　高知市北本町3-10-39
福岡県		
(株)日本電機サービス(福岡)	092-441-7858	〒816-0092　福岡市博多区東那珂2丁目14-26-1
池側電機	093-571-1355	〒803-0841　北九州市小倉北区清水1丁目20-9
中元電器	0948-22-4830	〒820-0011　飯塚市大字柏の森13-67
久留米音響サービス	0942-21-3781	〒830-0052　久留米市上津町1651-2
佐賀県		
佐賀テクニカルサービス	0952-33-5343	〒849-0932　佐賀市鍋島町大字八戸溝1252-13
大分県		
碩田電機サービス	0975-67-1967	〒870-0927　大分市北下郡11組の7
熊本県		
大堀電機	096-372-1403	〒860-0811　熊本市本荘2-3-22
長崎県		
島原無線	0957-64-0821	〒855-0801　島原市高島2-7208
(有)野中電機	0956-58-6494	〒859-3241　佐世保市有福町576-1
沖縄県		
(株)パルス	0988-66-1916	〒900-0003　那覇市安謝217番地3

MP3/WMAについて

注意：
個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMAデータ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3とは？
正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEG が定めた圧縮規格です。
MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。
また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。
（サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合）
このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMAとは？
正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約半分）で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。

MP3/WMAへ圧縮する方法
MP3/WMA専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。
また、本機で再生可能なMP3/WMAファイルは、拡張子が“ mp3 ” / “ wma ” です。（WMAはVer.7.1、8に対応）

再生可能なサンプリングレート・ビットレート
サンプリングレート
MP3： 8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
WMA： 22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート
MP3: 8kbps～320kbps、WMA: 48kbps～192kbps
ただし、サンプリングレートによっては、本機のフレーム表示（16ページ）で正しく表示されない場合があります。また、サンプリングレートによっては正常に再生されない場合があります。
上記記載以外は動作を保証致しかねます。

ID3タグ／WMAタグについて
ID3タグは、ID3 Tag v1、v2に対応しています。
MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル（曲名）、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

対応文字以外の場合、「NO SUPPORT」が表示されます。

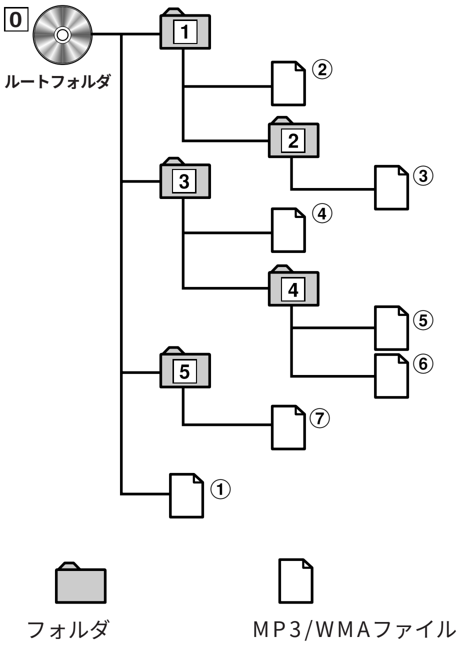
MP3/WMAディスクを作成するには
MP3/WMAファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RW メディアに書き込みます。
ファイル数は999個まで、フォルダ数（ルートフォルダを含めて）は256個までです。ただしライティングソフトによっては再生できない場合があります。
MP3作成ソフトの1部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生ができないことがあります。このような場合は他のライティングソフトを使用してMP3フォルダ（ファイル）のみを記録してください。

対応メディア
再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

対応ファイルシステム
ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。
ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大8階層）やフォルダ／ファイル名の文字数（30文字、拡張子含む）、フォルダ／ファイル名で使用できる文字（A～Z、0～9、＿（アンダーバー））などの制限があります。
また、Romeo、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

対応フォーマット
CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD (CD-Extra)、及びマルチセッションに対応しています。
但し、Track At Onceやパケットライトで作成されたCDの場合、正常に再生できません。

演奏される順番
演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。
下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。（実際に表示される番号ではありません）



用語説明

ビットレート
エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート
データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことで、たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード
音楽CD やWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ
曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMAファイルに書き込まれた楽曲情報。（MP3：ID3タグ、WMA：WMAタグ）

ルートフォルダ
ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ／ファイルはルートフォルダに含まれています。

知っておきたい豆知識

X-OVER(クロスオーバーネットワーク)はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は20Hz〜20kHz位と言われ、一つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域（低域、中域、高域など）に別けて各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター（LPF)」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター(HPF)」があります。中域は、ローパスフィルターとハイパスフィルターを組み合わせて利用します。このLPF/HPFを利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになるのです。

スピーカーについて

ハイレンジスピーカー
　シンバルなど、主に高音域を出力するスピーカー。

ミッドレンジスピーカー
　ボーカルの声/メロディ音など､主に中音域を出力するスピーカー｡
　ローレンジ（サブウーハー）が用意されない場合は、このミッドレンジが低音域まで再生することになります。

ローレンジスピーカー（サブウーハー）
　ベースやドラムの音など、主に低音域を出力するスピーカー。
　人間の耳は80Hz以下の音に方向性を感じにくいため、LPFの設定は80Hz以下にするのが一般的です。80Hz以上の音がローレンジスピーカー（サブウーハー）からなってしまうと、前方定位が崩れてしまう場合があります。

スロープ調整について

●例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません｡スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど、出力（音量）が低くなっていくという減衰特性を調整します。

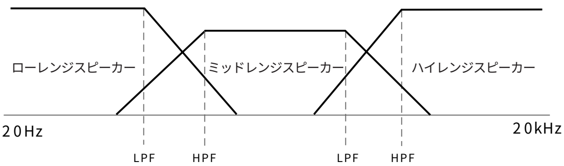
●フィルターのスロープ特性は6dB、12dB、18dB、24dB／oct.を内蔵しており、スロープの数値が大きいほど、傾きが急となり隣の帯域からの音の混ざりもなく、狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合もありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。

●フルレンジスピーカーを使用している場合、スロープ設定はFLATにします。

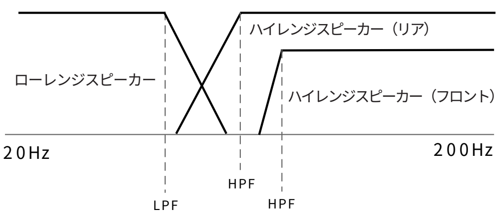
調整のコツ

注意：接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整は、スピーカー破損の原因となります。弊社製品のクロスオーバー周波数推奨値については、スピーカーの説明書を参照願います。
クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損/故障等が生じても、責任は負いかねますのでご注意願います。

3WAYの場合
使用するスピーカーの再生可能な周波数特性にもよりますが、まずは、3つに分割してみます。
例えば、
・ローレンジスピーカー　　　　：20Hz〜80Hz
・ミッドレンジスピーカー　　　：80Hz〜4kHz
・ハイレンジスピーカー　　　　：4kHz〜20kHz
とします。
このときの本機側の調整は、ローレンジスピーカーのLPFを63Hzまたは80Hz、ミッドレンジスピーカーのHPFを80Hzまたは100Hz、LPFを2kHz〜4kHz、ハイレンジスピーカーのHPFは4kHzを目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。後は、実際に試聴しながら、繰り返し周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて行い最も最適な調整を探します。

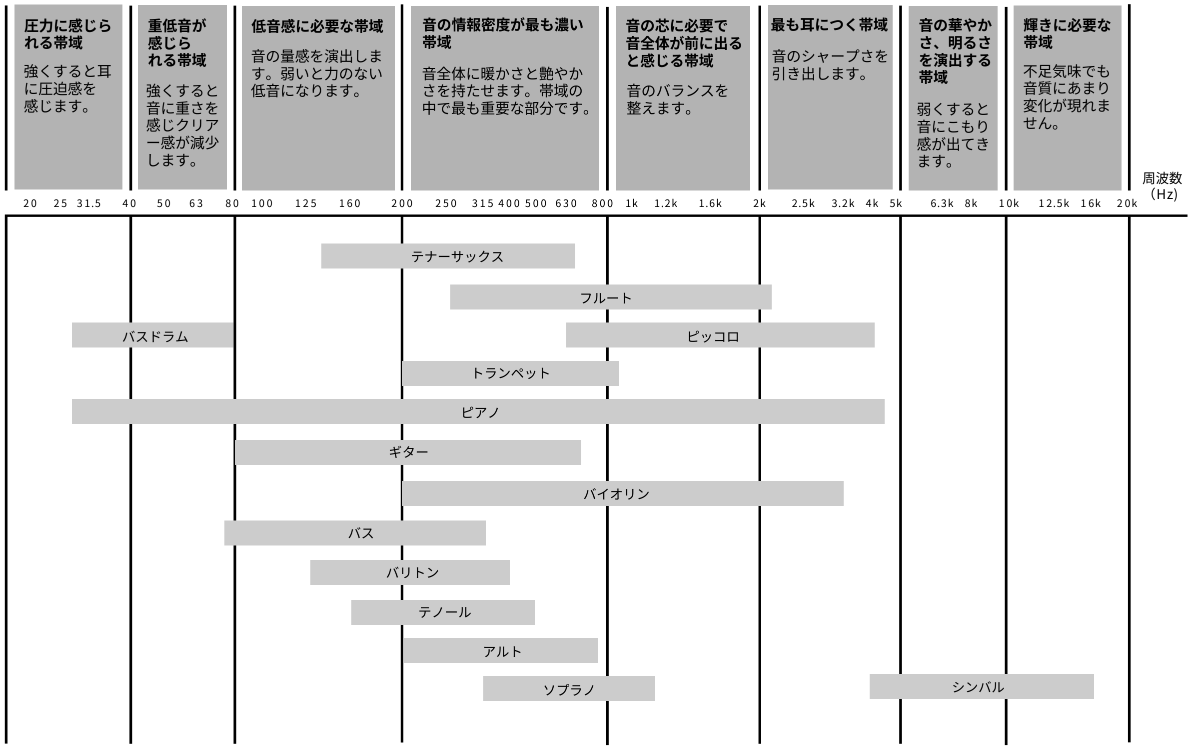


2WAYの場合
2WAYの場合は、2つに分割してみます。
例えば、
・ローレンジスピーカー　　　　：20Hz〜80Hz
・ハイレンジスピーカー　　　　：80Hz以上
　（フロント/リア）
とします。
本機側の調整は、ローレンジスピーカーのLPFを63Hzまたは80Hz、ハイレンジスピーカーのHPFはフロント/リアそれぞれ80Hzまたは100Hzを目安とし、上記3WAYと同じようにスロープを設定、出力レベルの調整を行います。



周波数帯域と音質について

一般的に、周波数には次のような音質の特徴があり、各帯域を強調/減衰することにより、さまざまな音質が楽しめます。調整の際の参考にしてください。



索引

五十音順

あ 行

か 行

さ 行

た 行